

DIGITAL ENTERTAINMENT KEYBOARD

取扱説明書

# PORTATONE

## PSR-70



YAMAHA

# ごあいさつ

このたびは、ヤマハポータートーンPSR-70をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

PSR-70は、ヤマハが世界に誇るデジタル技術の粋を結集して完成させた、未来型のエンターテインメントキーボードです。FM音源による情感豊かなオーケストラや個性的なシンセ感覚のソロ音色。プロのミュージシャンの磨き上げられた音そのままを再現する、PCM音源リズム。そして、オリジナルのコード、ベース & リズムで自動伴奏パターンを創りだすことができる、画期的なカスタムアカンパニメント機能を搭載。ベースとコードにそれぞれ16音色を内蔵し、イメージに合わせて自由に選ぶことができます。また、デジタル楽器の統一規格、MIDI端子を装備。シンセサイザーやコンピュータと接続し、新たな音楽シーンを生み出します。さらに、3チャンネルの演奏メモリーや外部テープへのインターフェイスなど、数多くの機能をコンパクトにおさめたPSR-70。プレイの可能性を大きく広げる、オールデジタルキーボードです。

本書では、その魅力を充分お楽しみいただけるように正しい取扱い方をご説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

# もくじ

	ページ
ご使用の前に	1
各部の名称とそのはたらき	2
ポータートーンのセット	5
オーケストラ	5
ソロ	6
■オーケストラとソロの効果的な使いかた	7
リズム	8
■キーボード・パーカッション	9
オートベースコード1〈シングルフィンガーコード〉	10
■コード早見表〈シングルフィンガーコード〉	11
オートベースコード2〈フィンガードコード〉	13
■コード早見表〈フィンガードコード〉	14
カスタムアカンパニメント	16
■「オブラディ・オブラダ」のアカンパニメントをつくろう	20
■アカンパニメント・サンプル	22
レジストレーションメモリー	24
ミュージックプログラマー	25
■「いとしのエリー」を弾いてみよう	28
テープ〔カセットインターフェイス〕	30
付属端子とオプション	31
MIDI	32
LET'S PLAY	
■ヒア・ゼア & エブリウェア	36
■ムーンライト・セレナーデ	38
■スウィートメモリーズ	40
■恋のかけひき	42
故障と誤りやすい現象	44
仕様	46
MIDIインプリメンテーションチャート	47

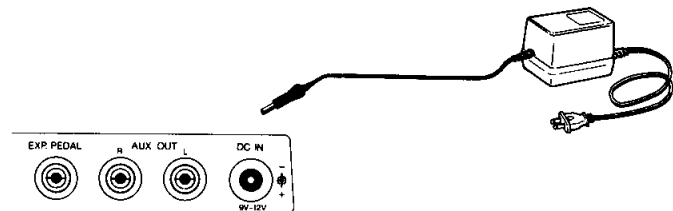
# ご使用前に

ながくお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

## 1. 電源について

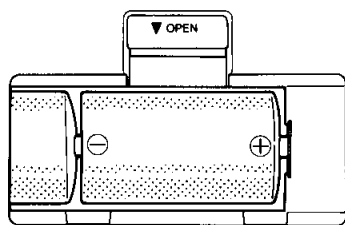
ポータトーンは、家庭用コンセントと電池の両方を使用することができます。

### ●電源アダプター(PA-4)の接続方法



ポータトーンの本体背面には、図のような付属端子がついています。電源アダプターの〔PA-4〕は、AC100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧変換器ですから、DC IN(9-12V)端子へ接続して電源を供給してください。

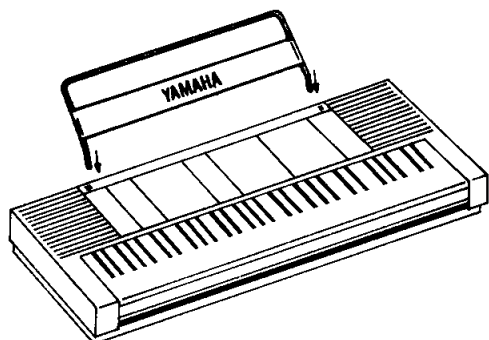
### ●電池の入れ方



まず、本体裏面にあるケースのふたを取ります。単1の乾電池を一列に6個入れます。このとき⊕⊖の方向をまちがえないようにご注意ください。電源スイッチを入れたとき、スイッチの下のパイロットランプが点滅していたら、電池がなくなりはじめです。新しい電池をご用意ください。また取りかえの時は全部新しい電池と交換してください。

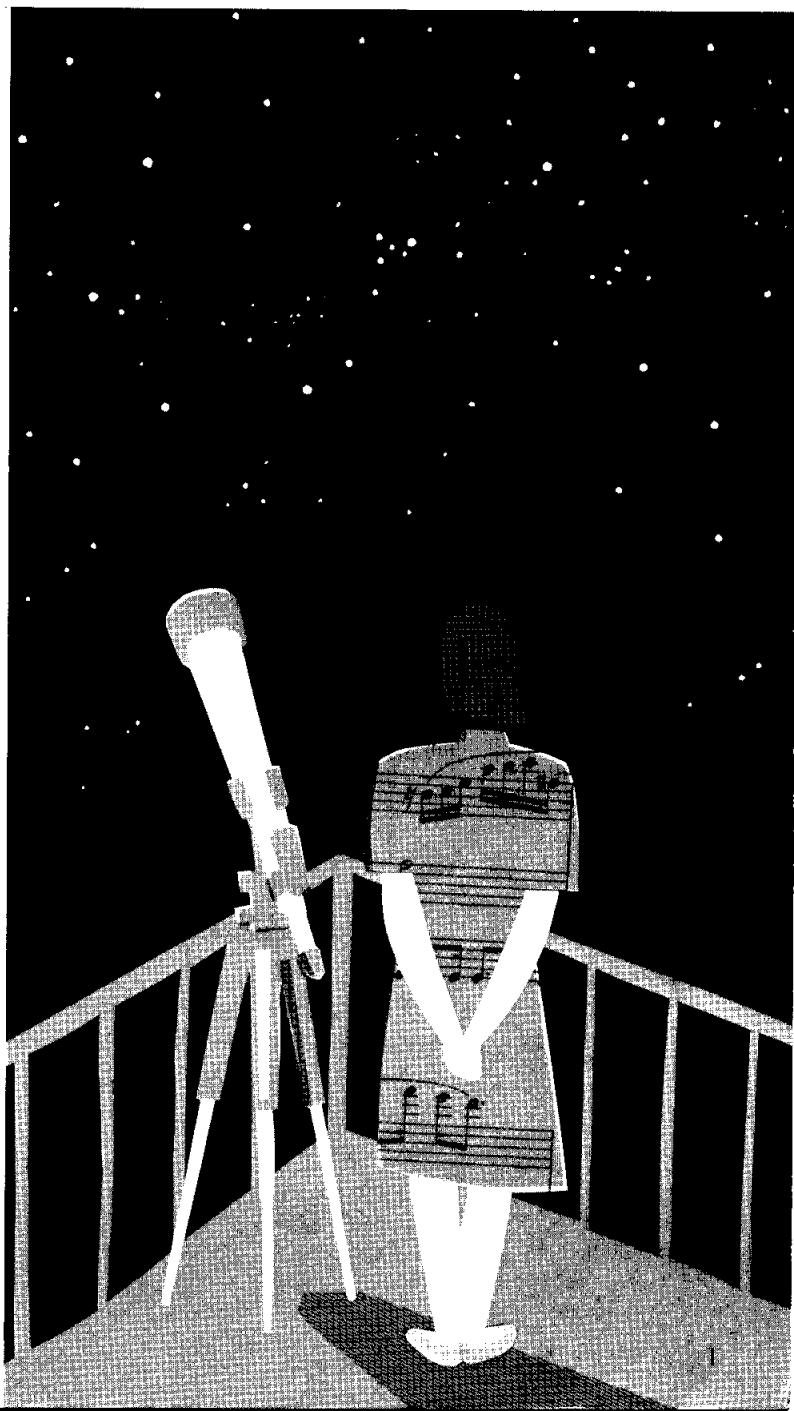
## 2. 譜面立ての立て方

付属の譜面立ては、楽器の上にある2つの穴に、その両端を差しこんで、ご使用ください。



## 3. 取扱上の注意

- ①直射日光が当たったり、暖房器具のそばなど極端に暑い場所に置くことはさけてください。本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。
- ②特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。
- ③過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないように注意してください。
- ④本体のお手入れは、乾いた布でカラぶきをするか、よごれのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。  
アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。  
また、塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合があります。
- ⑤ご使用後は、必ずパワースイッチを切ってください。



# 各部の名称とそのはたらき

★くわしくは( )内のページを参照してください。  
また、付属端子については31ページを参照してください。

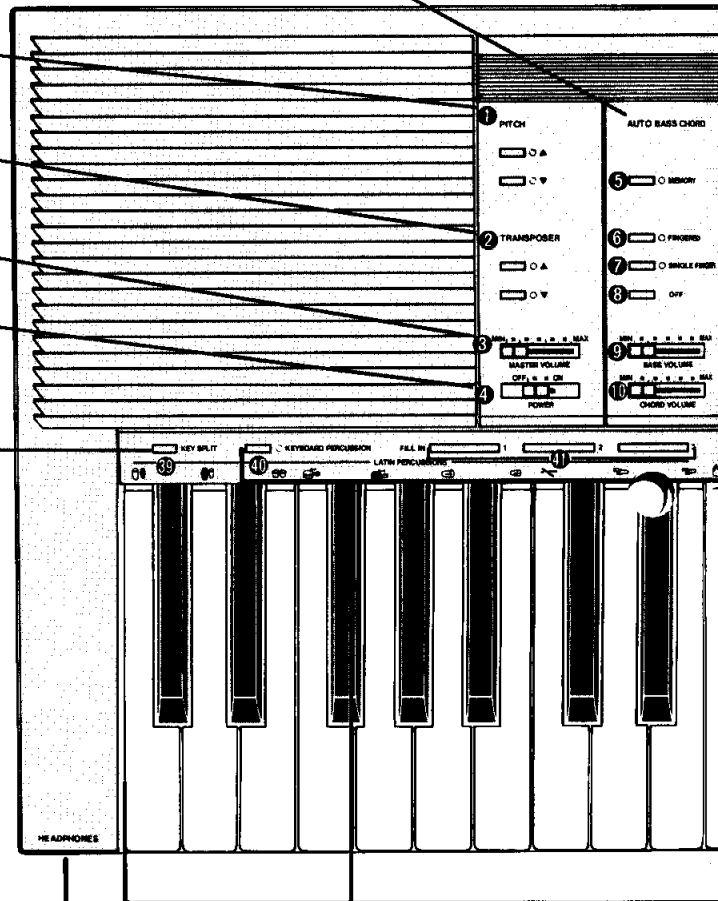
## オートベースコード《自動伴奏》(10~15ページ)

## リズム (8~9ページ)

- ⑤ **メモリー**  
[鍵盤から指を離しても自動伴奏を続けるようにするボタンです。]  
⑥⑦をONすると自動的にONされます。
- ⑥ **フィンガードコード**  
[和音を押えて自動伴奏をする時に押すボタンです。]
- ⑦ **シングルフィンガーコード**  
[指1本で自動伴奏をする時に押すボタンです。]
- ⑧ **オフ**  
[オートベースコードを使用しない時に押すボタンです。]
- ⑨ **ベースボリューム**  
[オートベースコードのベース音の音量を調節するレバーです。]
- ⑩ **コードボリューム**  
[オートベースコードのコード音の音量を調節するレバーです。]

- ⑪ **リズムセクター**  
[リズムの種類を選ぶボタンです。2度押すと、左右反対がわのリズムになります。]
- ⑫ **リズム・ボリューム**  
[リズムの音量を調節するレバーです。]

- ① **ピッチ (5ページ)**  
[音程のチューニングをするボタンです。]
- ② **トランスポザー (5ページ)**  
[キーを変える時に押すボタンです。]
- ③ **マスターボリューム (5ページ)**  
[全体の音量を調節するレバーです。]
- ④ **パワースイッチ/パイロットランプ (5ページ)**  
[スイッチをONすると数秒後にパイロットランプが点灯し、電気が通じます。]
- ⑬ **キースプリット (7・10~15ページ)**  
[トゥ・ローを使用したり、オートベースコードで自動伴奏をする時、伴奏用に使う鍵盤の範囲を設定します。]



ヘッドホン端子 (31ページ)

## リズム (8~9ページ)

- ⑭ **キーボード・パーカッション**  
[鍵盤を打楽器として使用する時に押すボタンです。もう1度押すとキャンセルされ、鍵盤はノーマル状態に戻ります。]
- ⑮ **フィルイン1・2・3**  
[一時的にリズムを変化させるフィルインを使用する時に押します。1・2・3の3パターンから選べます。]

# カスタムアカンパニメント

# オーケストラ (5-7ページ)

### 12 バリエーション

[リズムおよびオートベースコードの音色やパターンを変化させるボタンです。]

### 13 ハンドクラップ1・2

[このボタンを押すとリズムに合わせて手拍子がかかります。1・2の両方を同時に使用することもできます。もう1度押すとキャンセルされます。]

### 14 カスタム1・2・3

[カスタムアカンパニメントを使ってプログラムしたパターンをメモリーさせておくボタンです。]

### 15 テンポコントロール

[リズムのテンポを調節するレバーです。]

### 17 プログラム

[オリジナルのコード・ベース&リズムのパターンをプログラムする時に押すボタンです。]

### 18 リズム

[リズムパターンをプログラムする時に押すボタンです。]

### 19 ベース

[ベースパターンをプログラムする時に押すボタンです。]

### 20 コード

[コードパターンをプログラムする時に押すボタンです。]

### 21 クリア

[パターンを消す時に押すボタンです。]

### 22 オーケストラ音色セレクター

[オーケストラ音色を選ぶボタンです。2度押すと左右反対がわの音色になります。]

### 27 オーケストラ・ボリューム

[オーケストラ音色の音量を調節するレバーです。]

### 23 デュ

[オートば1音厚みの]

### 24 サブ

[オーケの2種]

### 25 スラ

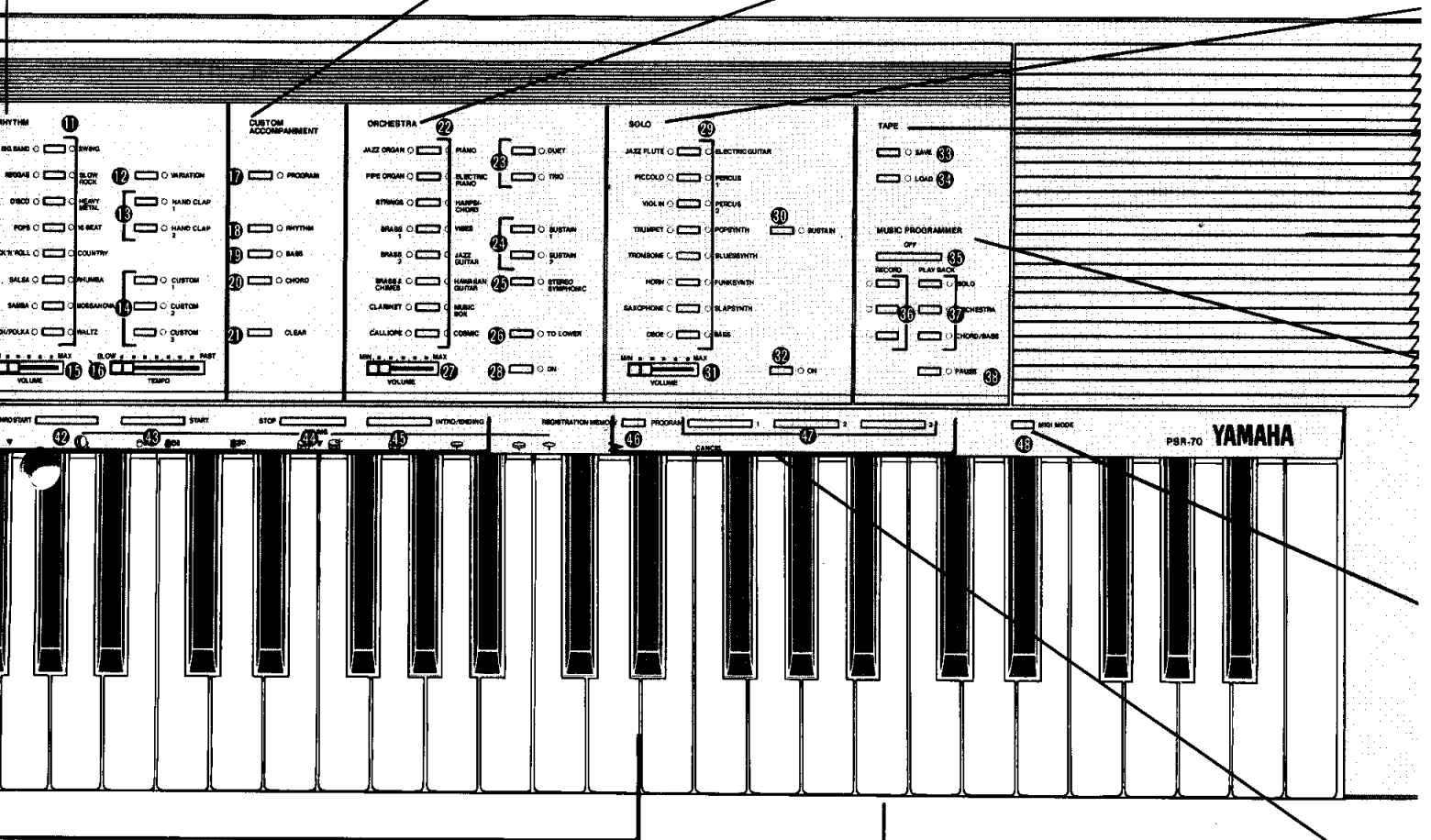
[ボタン1度押]

### 26 トウ

[オーケ高音音]

### 28 オー

[オーケ]



キーボード・パーカッション鍵盤

[キーボード・パーカッションをONした時やカスタムアカンパニメントでリズムパターンをプログラムする時、打楽器としてたく鍵盤です。]

フィルイン・タッチバー

[鍵盤下に軽く触れるだけでフィルインをかけることができます。]

### 12 シンクロスタート

[オートベースコード用鍵盤を押えると同時にリズムをスタートさせるボタンです。]

### 13 スタート

[リズムをスタートさせるボタンです。]

### 14 ストップ

[リズムを止めるボタンです。]

### 15 イントロ/エンディング

[イントロカウントでリズムをスタートさせる時や演奏のおわりにカッコよくキメたい時に押すボタンです。]

## ⑳デュエット/トリオ

オートベースコードを使用している時、「デュエット」を押せば1音、「トリオ」なら2音のコード音がメロディーに加わり、厚みのあるサウンドが得られます。

## ㉑サステイン1・2

オーケストラ音色に自然な余韻をつけるボタンです。1と2の2種類が選べます。もう1度押すとキャンセルされます。

## ㉒ステレオシンフォニック

ボタンを押すと音が広がりのある効果が得られます。もう1度押すとキャンセルされます。

## ㉓トゥ・ロー

オーケストラ音色を低音部鍵盤で使用する時に押します。高音部鍵盤は自動的にソロ音色になります。

## ㉔オーケストラ

オーケストラ音色を使用する時に押すボタンです。

## ソロ (6~7ページ)

### ㉕ソロ音色セレクター

ソロ音色を選ぶボタンです。同じボタンを2度押すと左右反対がわの音色になります。

### ㉖サステイン

ソロ音色に自然な余韻をつける効果のボタンです。もう1度押すとキャンセルされます。

### ㉗ソロ・ボリューム

ソロ音色の音量を調節するレバーです。

### ㉘ソロ

ソロ音色を使用する時に押すボタンです。

## テープ (30ページ)

### ㉙セーブ

ミュージックプログラマー、カスタムアカンパニメントに記憶させた演奏データを外部テープにデジタル信号で記録する時に押します。

### ㉚ロード

外部テープに記憶させた演奏データをPSR-70に戻す時に押します。

スピーカー

## ミュージックプログラマー (25~29ページ)

### ㉛オフ

演奏の記憶・再生を止める時に押します。

### ㉜プレイバック (ソロ・オーケストラ・コード/ベース)

記憶させた演奏を再生する時に押します。

### ㉝レコード (ソロ・オーケストラ・コード/ベース)

演奏を記憶させる時に押します。

### ㉞ポーズ

演奏の記憶・再生を一時的に中断する時に押します。

## MIDI (32~35ページ)

### ㉟MIDIモード

MIDI端子を使用する時、このボタンを押しながらパネルを操作してMIDIモードの切り換えをします。

## レジストレーションメモリー (24ページ)

### ㊱プログラム

レジストレーション (音色やリズムなどのセッティング) をメモリーさせる時に押すボタンです。

### ㊲レジストレーションメモリー1・2・3

レジストレーションをメモリーさせておき、瞬時にそのレジストレーションにセットすることができるボタンです。

# ポータートのセット

演奏するための準備。

# オーケストラ

同時8音で演奏できる、マイ・オーケストラ。

## 1. パワースイッチをON。



パイロットランプが点灯すれば、電気が通じています。

## 2. マスターボリュームを調節。



## 1. オーケストラ・スイッチをON。



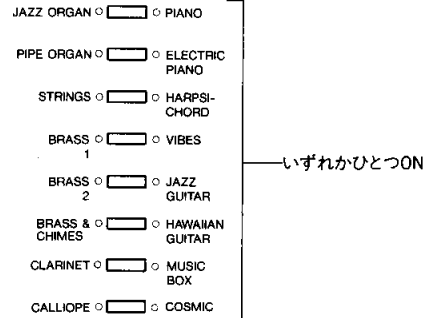
★ソロ・スイッチはOFFにします。また、オーケストラ・スイッチとソロ・スイッチが両方もOFFになっていると、オーケストラの音色になります。

## 2. オーケストラ・ボリュームを調節。



★マスターボリュームが最小(MIN)の位置にあると、ごく小さな音しかでません。

## 3. オーケストラ音色セレクターから好きな音色をひとつON。



選ばれた音色のランプが点灯します。もう1度、同じボタンを押すと左右反対がわの音色になります。

★いずれかの音色セレクターをONすると、前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。

## 4. 鍵盤をおさえてみましょう。

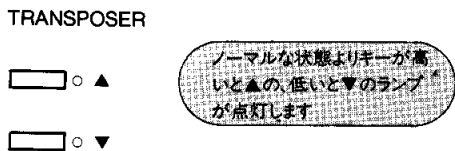
選んだ音色が出たことと思います。ほかの音色に変えていろいろなメロディーを弾いてみましょう。

★同時に8音まで(オートベースコード、デュエット/トリオを使用していない時)の和音演奏ができます。

## トランスポーザーの使いかた

上下にそれぞれ半オクターブまで、キーを変えることができます。伴奏をする時、歌う人の声の高さに合わせたり、音の位置を移動してやさしい、長調の弾きかたで演奏が楽しめます。

### 1. キーを上げる時は▲、下げる時は▼のボタンをON。



1回ONするごとに半音ずつキーが変わります。ノーマルな状態からそれぞれ6回までONしてキーを変えることができます。

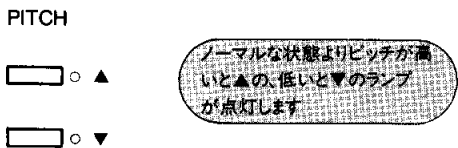
### 2. もとのキーに戻す時は、▲と▼のボタンを同時にON。

ランプが消えて、ノーマルな状態に戻ります。パワースイッチを入れなおしても、キーに戻すことができます。

## ピッチ調整のしかた

他の楽器とアンサンブルをする時などに音程を調整することができます。(可変巾±50セント)

### 1. ピッチを上げる時は▲、下げる時は▼のボタンをON。



1回ONするごとにピッチが変わります。また、ボタンを押しつづけていると自動的に変わっていきます。

### 2. もとの状態に戻す時は、▲と▼のボタンを同時にON。

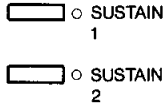
ランプが消えて、もとの状態に戻ります。パワースイッチを入れなおしても、もとに戻すことができます。(A=440Hz)

# ソロ

個性が際立つ、ソロプレイヤー。

## 効果

### ●サステイン

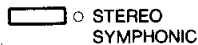


サステインは音に自然な余韻をつける効果です。サステイン1と2は余韻のかかりかたが異なります。曲によって使いわけてください。もう1度押せばキャンセルされます。

★オーケストラ音色には大きく分けて2種類あります。

持続音	ジャズオルガン、パイプオルガン、ストリングス、ブラス1・2、ブラス & チェイム、クラリネット、カリオペ
減す音	ピアノ、エレクトリックピアノ、ハーブシコード、パイプ、ジャズギター、ハワイアンギター、ミュージックボックス、コズミック

### ●ステレオシンフォニック



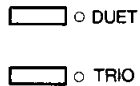
ボタンを押すと、音色がステレオとなって左右のスピーカーから流れ、広がりのある効果が得られます。もう1度押せばキャンセルされます。

★パイプオルガン、エレクトリックピアノ、ストリングス、ブラス & チェイムの4音色は音色セレクターで選ぶと自動的にステレオシンフォニックがONになります。(ボタンを押してキャンセルすることもできます。)

★オーケストラ音色セレクターで音色を選びなおすと、ステレオシンフォニックは自動的にその音色のセットになります。

★ジャズオルガンの音色には、あらかじめステレオシンフォニックの広がりのある効果がかかっていますが、ステレオシンフォニックをONにすると、さらに音にうねりを持たせるトレモロ効果が得られます。

### ●デュエット/トリオ



オートベースコード(10~15ページ参照)を使用している時、メロディーに自動的にハーモニーをつけるボタンです。デュエットなら1音、トリオなら2音、コード音のなかからハーモニーが加わります。もう1度押せばキャンセルされます。

★オートベースコードで演奏していない時、デュエット/トリオのボタンをONにしてもハーモニーはつきません。

★ハーモニーとして加わる音の音色は、オーケストラ音色セレクターで選んでいるものです。

★オーケストラ、ソロ両方に使えますが、オーケストラ・ボリュームを必ず上げてください。また、オーケストラ・スイッチがOFFになっていると、ハーモニーの音量は小さくなり、ソロの演奏が引き立つようになります。

### 1. ソロ・スイッチをON。



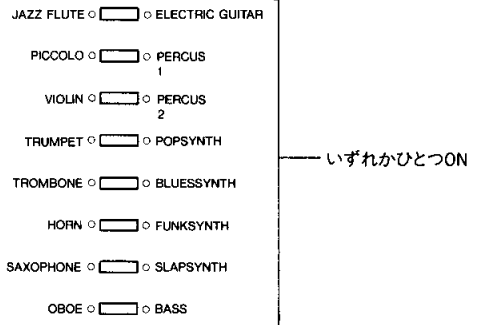
★オーケストラ・スイッチはOFFにしておきます。

### 2. ソロ・ボリュームを調節。



★マスターボリュームが(MIN)の位置にあると、ごく小さな音しかでません。

### 3. ソロ音色セレクターから好きな音色をひとつON。



選ばれた音色のランプが点灯します。

もう1度同じボタンを押すと左右反対がわの音色になります。

★いずれかの音色セレクターをONすると、前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。

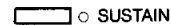
### 4. 鍵盤をおさえてみましょう。

選んだ音色が出たことと思います。ほかの音色に変えていろいろなメロディーを弾いてみましょう。

★ソロ音色は単音で鳴り、高音が優先されます。

## 効果

### ●サステイン



サステインは音に自然な余韻をつける効果です。もう1度押すとキャンセルされます。

★かかり方は音色によって異なります。

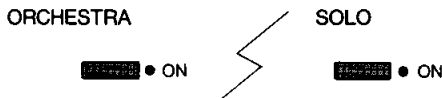


# オーケストラとソロの効果的な使いかた

オーケストラ音色とソロ音色の両方をアンサンブルさせたり、低音部と高音部の鍵盤の音色を使い分けすることができます。

## ■アンサンブル

1. オーケストラ・スイッチとソロ・スイッチの両方をON。



2. それぞれの音色セクターで、ひとつずつ音色を選んでON。

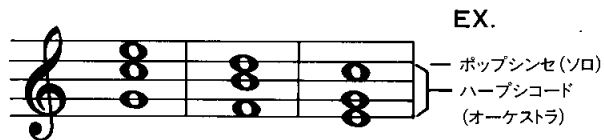
3. ボリュームを調節。



オーケストラ・ボリューム、ソロ・ボリュームの両方を調節します。

★マスターボリュームが最小(MIN)の位置にあると、ごく小さな音しかできません。

4. 鍵盤をおさえてみましょう。



2つ以上の鍵盤を同時に弾くと、いちばん高い音だけにソロ音色が加わり、美しいアンサンブル効果が生れます。

★聴きながらオーケストラ・ボリュームとソロ・ボリュームを調節して、メロディーが引き立つようにしましょう。

★鍵盤をひとつだけおさえた時は、オーケストラとソロの両方の音がでます。

★オーケストラとソロの両方を使用すると、オーケストラは同時に7音まで音がでます。

## ■メロディーと伴奏をちがう音色で演奏

1. オーケストラのトゥ・ロワーのボタンをON。



2. オーケストラ、ソロ、それぞれの音色セクターでひとつずつ音色を選んでON。

3. ボリュームを調節。

オーケストラ・ボリューム、ソロ・ボリュームの両方を調節します。

★マスター・ボリュームが最小の位置にあると、ごく小さな音しかできません。

4. キースプリットで、伴奏用に使う鍵盤の範囲をセット。



このボタンを押すと、鍵盤の上で点灯している▼ランプの位置が変わります。

5. 両手で弾いてみましょう。



キースプリットでセットした▼ランプより低音域がオーケストラ音色、高音域がソロ音色になります。

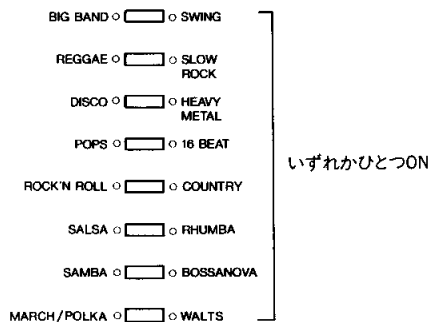
★オーケストラ・スイッチやソロ・スイッチがOFFになっていても、トゥ・ロワーのボタンを押すと自動的に鍵盤は高音部と低音部に分かれます。

★デュエット/トリオとトゥ・ロワーを同時に使うことはできません。

★オートベースコード使用時にトゥ・ロワーを併用することができます。

# リズム

## 1. リズムセクターからリズムをひとつ選んでON。



選ばれたリズムのランプが点灯します。  
もう1度押すと左右反対がわのリズムになります。

★いずれかのリズムセクターを押すと、前に選んだリズムは自動的にキャンセルされます。

## 2. スタート、シンクロスタートどちらかをON。

SYNCHRO START  START

### <スタート>

ボタンをおすと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

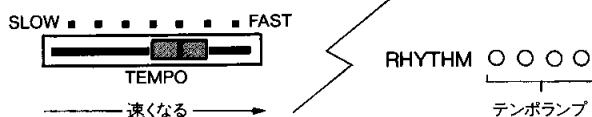
### <シンクロスタート>

このボタンをおすと演奏スタンバイの状態となり、オートベースコード用鍵盤をおすと同時に選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。赤いランプ(4分音符の単位で点滅)でテンポを確認して、メロディーとリズムを同時にスタートさせることができます。もう1度おすとリズムが止まり、再び演奏スタンバイ状態にもどります。ブレイクなどの時に便利です。

## 3. リズム・ボリュームでリズム音の大きさを調節。



## 4. テンポレバーでリズムの速さを調節。



## 5. リズムを止める時はストップをON。

STOP

## リズムをより効果的に

### ●バリエーション

VARIATION

リズムやオートベースコード(10~15ページ参照)のパターンがハデになります。もう1度押せばキャンセルされます。

### ●イントロ/エンディング

INTRO./ENDING

よりカッコよくリズムをスタート、ストップさせる時にこのボタンを使います。イントロとして使用の時、カウントをとってからリズムがスタート。テンポを確認して演奏をはじめられます。また、曲のおわりに使用すると、カッコよくエンディングをキメることができます。

★エンディングとして使用する時、ボタンをONするタイミングが、ワルツの場合で1.5拍目よりあと、その他のリズムで3拍目よりあとだと、次の小節からエンディングのパターンになります。

★イントロスタートの場合、カウントの間は鍵盤をおさえていてもオートベースコードの音は鳴りません。鍵盤をおさえて待っているとタイミングよくスタートできます。

★エンディングとして使用する時、ボタンを2度押しすると、だんだんテンポをゆっくりにするリタルダンドとなります。

### ●ハンドクラップ

HAND CLAP  
1

HAND/CLAP  
2

リズムに合った手拍子が自動的に加わります。1と2の2種類がありますが、同時に両方をONして使うこともできます。もう1度押せばキャンセルされます。

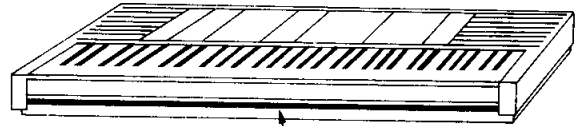
## ●フィルイン

FILL IN  1  2  3

〈フィルイン・タッチバー〉

メロディーの切れ目など必要な時にフィルインを押すと、その小節の終わりまで変則的なリズム(オカズ)に変わります。

- フィルイン1……………リズムのみ変化
- フィルイン2……………} リズム、ベース、コード
- フィルイン3……………} ともに変化



フィルイン・タッチバー

### 〈フィルインで曲をスタート〉

フィルインで曲をスタートさせることもできます。まず、フィルインをONしてからリズムをスタートさせてください。

RHYTHM ○ ● ○ ○

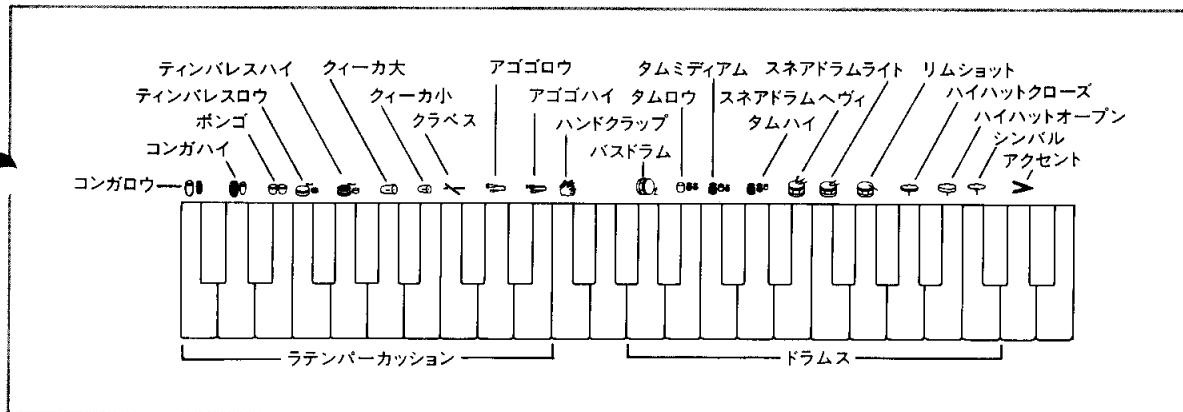
リズムがスタートしていない時、フィルインが押されるとそのジャンルに2番目のアンボランプが点灯します。

フィルイン・タッチバーは、軽く触れるだけでフィルインさせることができます。フィルインのパターンはあらかじめ、フィルイン1・2・3のいずれかのボタンとタッチバーを同時にONすることで、そのパターンが設定されます。パワースイッチをONした時は、常にフィルイン1が選ばれています。

- ★フィルインを押し続けると変則的なリズムが長く続きます。
- ★フィルインのパターンは選んだリズムによって変化します。
- ★フィルインを押したあと、その小節内にもう1度押すと通常のリズムにもどります。

## キーボード・パーカッション

鍵盤を打楽器として使用することができます。



KEYBOARD PERCUSSION

キーボード・パーカッションのボタンを押すと鍵盤から上の図のドラムス & パーカッションの音が出てきます。もう1度押せばキャンセルされ、ノーマル演奏の状態にもどります。

- ★この状態では、打楽器の鍵盤以外から音はできません。
- ★打楽器の鍵盤の範囲の黒鍵は、右端アクセント(>)鍵盤と同様、同時に押すと音が大きくなるアクセントとして使用できます。
- ★キーボード・パーカッション使用時は、オートベースコード、通常のリズムなどは使用できません。
- ★キーボード・パーカッションの音量は、リズム・ボリュームで調節します。

# オートベースコード<sup>1</sup> シングルフィンガーコード

鍵盤をひとつおさえるだけで、和音とベース音による自動伴奏ができます。

## 1. リズムをセット。(8~9ページ参照)

ひとつ選んでON

BIG BAND <input type="checkbox"/>	SWING <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	VARIATION <input type="checkbox"/>
REGGAE <input type="checkbox"/>	SLOW ROCK <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	HAND CLAP 1 <input type="checkbox"/>
DISCO <input type="checkbox"/>	HEAVY METAL <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	HAND CLAP 2 <input type="checkbox"/>
POPS <input type="checkbox"/>	16 BEAT <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CUSTOM 1 <input type="checkbox"/>
ROCK'N ROLL <input type="checkbox"/>	COUNTRY <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CUSTOM 2 <input type="checkbox"/>
SALSA <input type="checkbox"/>	RHUMBA <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	CUSTOM 3 <input type="checkbox"/>
SAMBA <input type="checkbox"/>	BOSSANOVA <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
MARCH/POLKA <input type="checkbox"/>	WALTS <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

MIN ● ● ● ● ● MAX SLOW ● ● ● ● ● FAST

VOLUME ● ● ● ● ● TEMPO ● ● ● ● ●

シンクロスタート ON

デンプとボリュームをセット

SYNCHRO START

## 2. シングルフィンガーコードのボタンをON。

SINGLE FINGER

★メモリーが自動的にセットされます。

## 3. コードとベースのボリュームを調節。

MIN ● ● ● ● ● MAX

BASS VOLUME

MIN ● ● ● ● ● MAX

CHORD VOLUME

★マスターボリュームが最小(MIN)の位置にあると、音はでません。

## 4. キースプリットで、オートベースコード用鍵盤の範囲をセット。

KEY SPLIT

点灯している▼ランプより低音域がわがオートベースコード用

このボタンを押すと、鍵盤の上で点灯している▼ランプの位置が変わります。演奏しやすい位置にセットしましょう。

## 5. オートベースコード用鍵盤をひとつおさえます。

和音とベース音がリズムによってできます。

オートベースコード用鍵盤をおすと同時に和音とベース音による伴奏がリズムによってできます。

- ★鍵盤から指を離れたあとも同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ鍵盤をおしてください。
- ★コードを変えるところで、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指を離すようにしてください。
- ★オートベースコードの音色は、オーケストラで選んだ音色と関係ありません。
- ★メモリーをOFFにすると、鍵盤から指を離せばオートベースコードの音も鳴りやみます。この時、シンクロスタートで演奏をはじめた場合は鍵盤から指を離すとリズムの音も止まって演奏スタンバイ状態になり、ブレークとして使用することもできます。

# ラブ・ミー・テンダーを弾いてみよう

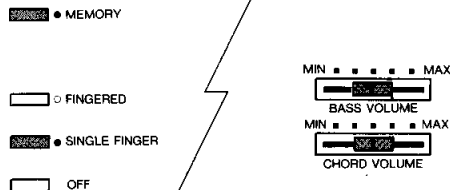
1. オーケストラ音色セクターのエレクトリックピアノをON。

2. リズムはポップスを選びます。



リズムのテンポと  
ボリュームを調節。

3. オートベースコードをセット。



4. シンクロスタートまたはイントロ/エンディングをON。

5. なれたら途中からデュエットを加えると効果的。

## ラブ・ミー・テンダー

Love me Tender

作詞・作曲/E. Presley & V. Matson

POPS

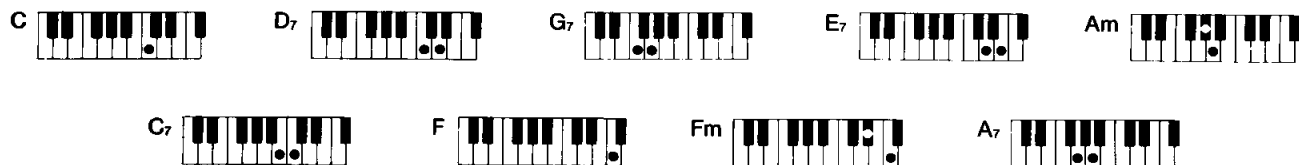
ELECTRIC PIANO

DUET ON

C ↓ 2拍目でイントロ/エンディングON

©1956 by ELVIS PRESLEY Music, Inc.  
Rights for Japan assigned to CHAPPEL/INTERSONG K.K.  
日本音楽著作権協会(出)許第8570551-501号

★コードのおさえ方

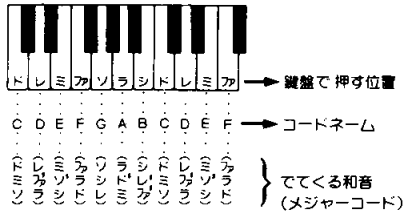


# コード早見表

## シングルフィンガーコードのだし方

### シングルフィンガーコードについて

次の図は、オートベースコード用鍵盤をおす位置と、てくる和音の関係を示したものです。



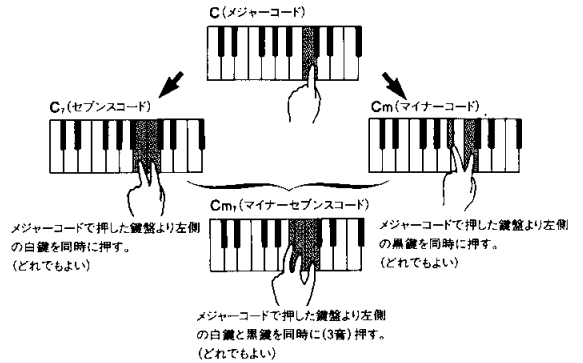
### #、bのついているコードのだし方



#がついていたら、上の図で説明した位置の右上の黒鍵、bがついていたら左上の黒鍵をおせば、#・bのついたコードがだせます。

### セブンスコード、マイナーコードのだし方

アルファベット1文字のコード(C、Dなど)をメジャーコードといいます。伴奏はメジャーコードだけとは限りません。例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時におすことでだすことができます。



## シングルフィンガーコード

メジャーコード		マイナーコード		セブンスコード		マイナーセブンスコード	
C		Cm		C7		Cm7	
D <sup>♯</sup> (C <sup>♯</sup> )		D <sup>♯</sup> m(C <sup>♯</sup> m)		D <sup>♯</sup> 7(C <sup>♯</sup> 7)		D <sup>♯</sup> m7(C <sup>♯</sup> m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E <sup>♯</sup> (D <sup>♯</sup> )		E <sup>♯</sup> m(D <sup>♯</sup> m)		E <sup>♯</sup> 7(D <sup>♯</sup> 7)		E <sup>♯</sup> m7(D <sup>♯</sup> m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )		F <sup>♯</sup> m(G <sup>♯</sup> m)		F <sup>♯</sup> 7(G <sup>♯</sup> 7)		F <sup>♯</sup> m7(G <sup>♯</sup> m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )		A <sup>♯</sup> m(G <sup>♯</sup> m)		A <sup>♯</sup> 7(G <sup>♯</sup> 7)		A <sup>♯</sup> m7(G <sup>♯</sup> m7)	
A		Am		A7		Am7	
B <sup>♯</sup> (A <sup>♯</sup> )		B <sup>♯</sup> m(A <sup>♯</sup> m)		B <sup>♯</sup> 7(A <sup>♯</sup> 7)		B <sup>♯</sup> m7(A <sup>♯</sup> m7)	
B		Bm		B7		Bm7	

# オートベースコード2 フィンガードコード

フィンガードコードは、和音をおさえて自動伴奏をする機能です。シングルフィンガードより表現の幅が広がります。

### 1. リズムをセット。(8~9ページ参照)

ひとっしょんでON

BIG BAND  SWING  
 REGGAE  SLOW ROCK  VARIATION  
 DISCO  HEAVY METAL  HAND CLAP 1  
 POPS  16 BEAT  HAND CLAP 2  
 ROCK N ROLL  COUNTRY  
 SALSA  RHUMBA  CUSTOM 1  
 SAMBA  BOSSANOVA  CUSTOM 2  
 MARCH/POLKA  WALTZ  CUSTOM 3

MIN ■■■■ MAX  
 VOLUME

SLOW ■■■■ FAST  
 TEMPO

デンボとボリュームをセット

シンクロスタート ON

SYNCHRO START

### 2. フィンガードコードのボタンをON。

● FINGERED

★メモリーが自動的にセットされます。

### 3. コードとベースのボリュームを調節。

MIN ■■■■ MAX  
BASS VOLUME

MIN ■■■■ MAX  
CHORD VOLUME

★マスターボリュームが最小(MIN)の位置にあると、音はでません。

### 4. キースプリットで、オートベースコード用鍵盤の範囲をセット。

KEY SPLIT

点灯している▼ランプより  
低音域がわか  
オートベースコード用

このボタンを押すと、鍵盤の上で点灯している▼ランプの位置が変わります。演奏しやすい位置にセットしましょう。

### 5. オートベースコード用鍵盤で和音をおさえます。

例えば  
Cなら

オートベースコード用鍵盤をおすと同時に和音とベース音による伴奏がリズムによってできます。

★鍵盤から指を離れたあとも同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ鍵盤をおしてください。

★コードを変えるところで、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指を離すようにしてください。

★オートベースコードの音色は、オーケストラで選んだ音色と関係ありません。

★メモリーをOFFにすると、鍵盤から指を離せばオートベースコードの音も鳴りやみます。この時、シンクロスタートで演奏をはじめた場合は鍵盤から指を離すとリズムの音も止まって、演奏スタンバイ状態になり、ブレイクとして使用することもできます。

★転回形を検出するコードは次の7種類です。












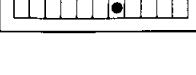
例：C、Cm、C7、Cm7、Cmaj7、Cm7<sup>5</sup>、C7sus4

これ以外のコードの場合は、押鍵している和音の最低音をベースとして演奏します。




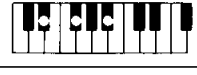








# コード早見表

## フィンガードコード


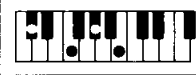









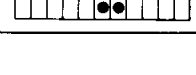
メジャーコード

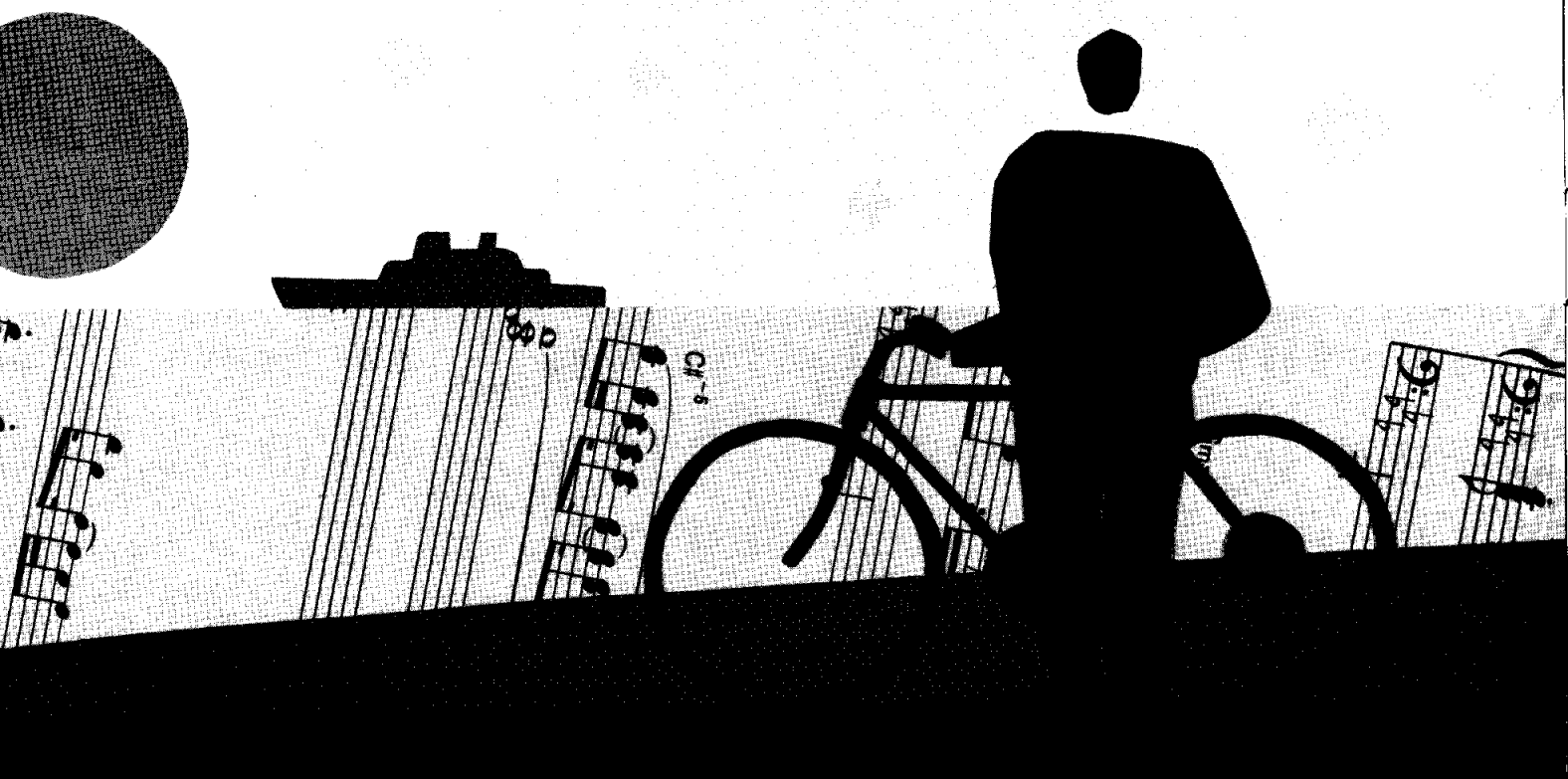
C	
D <sup>♯</sup> (C <sup>♯</sup> )	
D	
E <sup>♯</sup> (D <sup>♯</sup> )	
E	
F	
F <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )	
G	
A <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )	
A	
B <sup>♯</sup> (A <sup>♯</sup> )	
B	

マイナーコード

C <sub>m</sub>	
D <sup>♯</sup> <sub>m</sub> (C <sup>♯</sup> <sub>m</sub> )	
D <sub>m</sub>	
E <sup>♯</sup> <sub>m</sub> (D <sup>♯</sup> <sub>m</sub> )	
E <sub>m</sub>	
F <sub>m</sub>	
F <sup>♯</sup> <sub>m</sub> (G <sup>♯</sup> <sub>m</sub> )	
G <sub>m</sub>	
A <sup>♯</sup> <sub>m</sub> (G <sup>♯</sup> <sub>m</sub> )	
A <sub>m</sub>	
B <sup>♯</sup> <sub>m</sub> (A <sup>♯</sup> <sub>m</sub> )	
B <sub>m</sub>	

セブンスコード

C <sub>7</sub>	
D <sup>♯</sup> <sub>7</sub> (C <sup>♯</sup> <sub>7</sub> )	
D <sub>7</sub>	
E <sup>♯</sup> <sub>7</sub> (D <sup>♯</sup> <sub>7</sub> )	
E <sub>7</sub>	
F <sub>7</sub>	
F <sup>♯</sup> <sub>7</sub> (G <sup>♯</sup> <sub>7</sub> )	
G <sub>7</sub>	
A <sup>♯</sup> <sub>7</sub> (G <sup>♯</sup> <sub>7</sub> )	
* A <sub>7</sub>	
* B <sup>♯</sup> <sub>7</sub> (A <sup>♯</sup> <sub>7</sub> )	
* B <sub>7</sub>	





マイナーセブンスコード

Cm7	
D <sup>b</sup> m7 (C <sup>b</sup> m7)	
Dm7	
E <sup>b</sup> m7 (D <sup>b</sup> m7)	
Em7	
Fm7	
F <sup>b</sup> m7 (G <sup>b</sup> m7)	
Gm7	
A <sup>b</sup> m7 (G <sup>b</sup> m7)	
* Am7	
* B <sup>b</sup> m7 (A <sup>b</sup> m7)	
* Bm7	

メジャーセブンスコード

Cmaj7	
D <sup>b</sup> maj7 (C <sup>b</sup> maj7)	
Dmaj7	
E <sup>b</sup> maj7 (D <sup>b</sup> maj7)	
E:maj7	
F:maj7	
F <sup>b</sup> maj7 (G <sup>b</sup> maj7)	
G:maj7	
* A <sup>b</sup> maj7 (G <sup>b</sup> maj7)	
* A:maj7	
* B <sup>b</sup> maj7 (A <sup>b</sup> maj7)	
* B:maj7	

デミニッシュコード

Cdim	
D <sup>b</sup> dim (C <sup>b</sup> dim)	
Ddim	
E <sup>b</sup> dim (D <sup>b</sup> dim)	
Edim	
Fdim	
F <sup>b</sup> dim (G <sup>b</sup> dim)	
Gdim	
A <sup>b</sup> dim (G <sup>b</sup> dim)	
Adim	
* B <sup>b</sup> dim (A <sup>b</sup> dim)	
* Bdim	

オーギュメントコード

Caug	
D <sup>b</sup> aug (C <sup>b</sup> aug)	
Daug	
E <sup>b</sup> aug (D <sup>b</sup> aug)	
Eaug	
Faug	
F <sup>b</sup> aug (G <sup>b</sup> aug)	
Gaug	
A <sup>b</sup> aug (G <sup>b</sup> aug)	
Aaug	
B <sup>b</sup> aug (A <sup>b</sup> aug)	
* Baug	

マイナーセブンス  
フラットドフィフスコード

Cm7 <sup>-5</sup>	
D <sup>b</sup> m7 <sup>-5</sup> (C <sup>b</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
Dm7 <sup>-5</sup>	
E <sup>b</sup> m7 <sup>-5</sup> (D <sup>b</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
Em7 <sup>-5</sup>	
Fm7 <sup>-5</sup>	
F <sup>b</sup> m7 <sup>-5</sup> (G <sup>b</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
Gm7 <sup>-5</sup>	
A <sup>b</sup> m7 <sup>-5</sup> (G <sup>b</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
* Am7 <sup>-5</sup>	
* B <sup>b</sup> m7 <sup>-5</sup> (A <sup>b</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
* Bm7 <sup>-5</sup>	

セブンスサス・フォー  
コード

C7sus4	
C <sup>b</sup> 7sus4 (D <sup>b</sup> 7sus4)	
D7sus4	
E <sup>b</sup> 7sus4 (D <sup>b</sup> 7sus4)	
E7sus4	
F7sus4	
F <sup>b</sup> 7sus4 (G <sup>b</sup> 7sus4)	
G7sus4	
A <sup>b</sup> 7sus4 (G <sup>b</sup> 7sus4)	
* A7sus4	
* B <sup>b</sup> 7sus4 (A <sup>b</sup> 7sus4)	
* B7sus4	

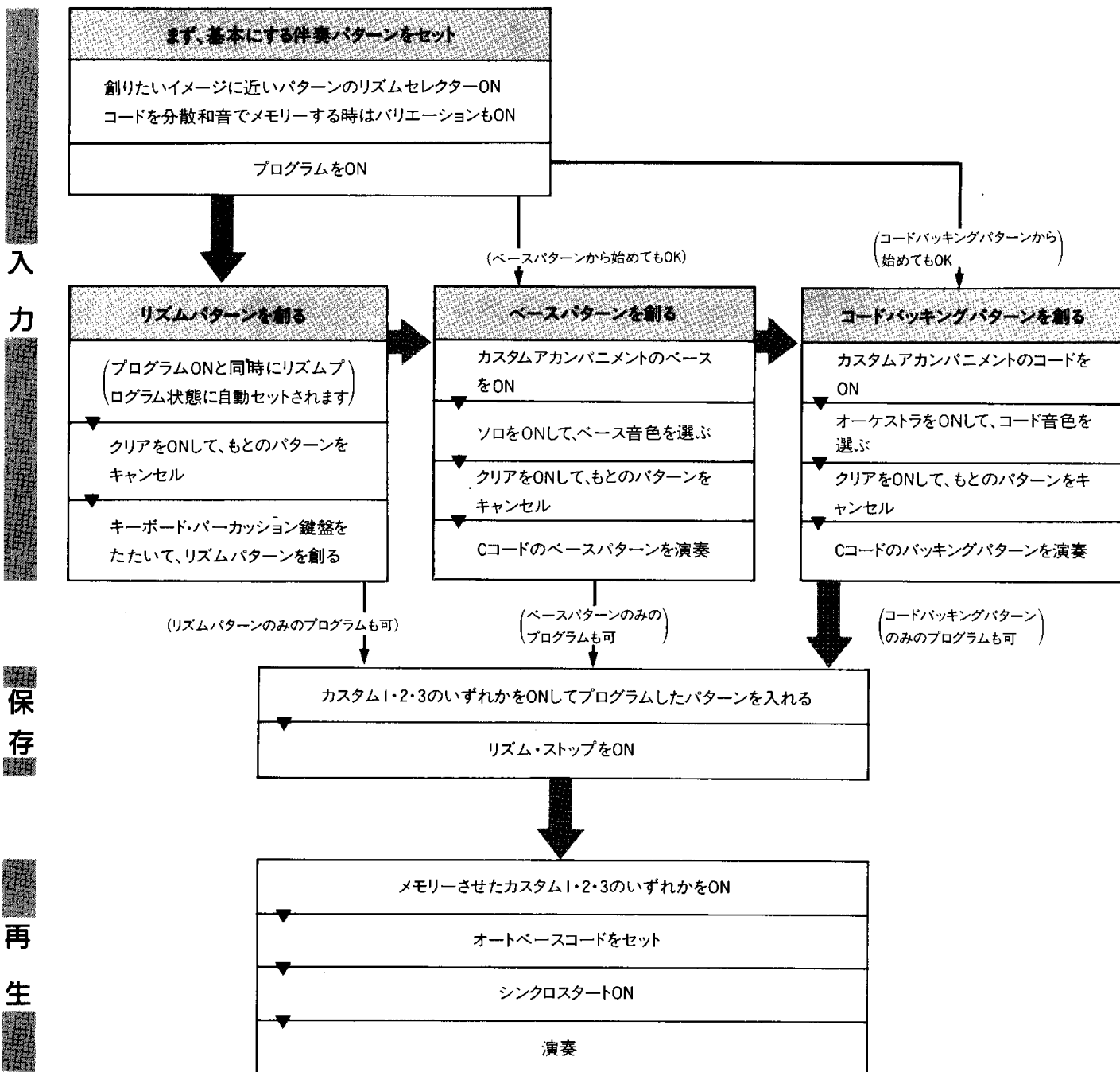
\*は転回型、他は基本型です。

# カスタムアカンパニメント

リズム、ベース、コードの3パートをそれぞれ好きな音色、パターンで入力し、オリジナルの自動伴奏パターンを創って、記憶させておくことができます。記憶させたものは、パワースイッチを切っても最低5日間保持可能です。

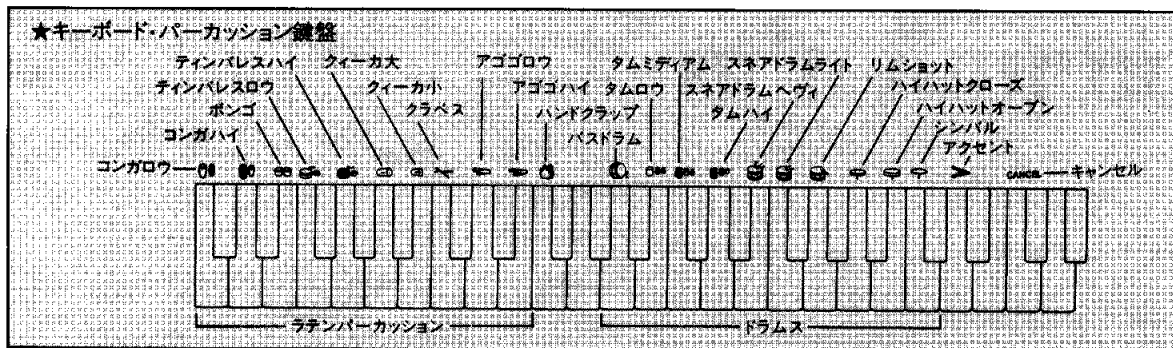
## ■カスタムアカンパニメント・フローチャート

カスタムアカンパニメントを使って1パターンをメモリーする基本的な手順です。くわしくは17～23ページを参照してください。



## ■入力のしかた

リズム、ベース、コードの3パートをすべてオリジナルにすることも、ひとつのパートだけをオリジナルにしてPSR-70のパターンと合わせることもできます。また、プログラムする操作はどのパートから始めてもかまいません。



### プログラム状態にセット

1. リズムセクターで、  
創りたいイメージに近いリズムを選びます。

- BIG BAND   SWING
- REGGAE   SLOW ROCK
- DISCO   HEAVY METAL
- POPS   16 BEAT
- ROCK'N ROLL   COUNTRY
- SALSA   RHUMBA
- SAMBA   BOSSANOVA
- MARCH/POLKA   WALTZ

ひとつ選んでON

★この時選択したリズムパターンをもとにオリジナルのパターンを創るシステムのため、ワルツで4拍子、またスウィングなど $\frac{3}{4}$ 拍子で8ビートなどは創れません。

$\frac{3}{4}$ 系	ビッグバンド、スウィング、レゲエ、スローロック、ヘヴィメタル
$\frac{4}{4}$ 系	ディスコ、ポップス、16ビート、ロックンロール、カントリー、サルサ、ルンバ、サンバ、ボサノバ、マーチ/ポルカ
$\frac{3}{4}$ 系	ワルツ

2. コードを分散和音でプログラムするならバリエーションON。

VARIATION

1本指でプログラムするならバリエーションをOFFにします。

3. プログラムのボタンをON。

PROGRAM

自動的にリズムプログラム状態となり、選んだリズムのパターンが2小節単位でくり返し鳴ります。

### リズムのプログラム

1. カスタムアカンパニメントのリズムが点灯していることを確認。

RHYTHM

他のパートからプログラムした場合は、リズムをON。

★オートベースコードのシングルフィンガーコード、フィンガードコードがONされていると、コードとベース音が鳴ります。リズムをプログラムする時、コードとベース音を消したい場合はオートベースコードのオフを押すか、またはボリュームを小さくしてください。

2. クリアのボタンをON。

CLEAR

打楽器音が消え、4分音符単位でハイハットクローズがメトロノーム音として鳴ります。

★クリアせずに上からかぶせることもできます。

★変えたい打楽器音だけを消すこともできます。キャンセルの鍵盤(F4)をおさえながら、変えたい打楽器の鍵盤を押してください。

3. テンポコントロールでテンポを調節。

4. 好みの打ち方で、キーボード・パーカッション鍵盤をたたきます。

リアルタイムに打楽器音が鳴りながら2小節のリズムパターンとしてメモリーされます。1小節パターンをメモリーさせたい時も、2小節分のリズムをたたいてください。気に入ったパターンがきたらベース、コードのプログラム、もしくは保存の操作へ。

★16分音符の単位までメモリーします。それ以上細かくたたいてもメモリーしません。

★1小節目の1拍目にテンポランプが4つとも点灯します。

★ひとつのパターンにラテンパーカッションから4つ、ドラムスからはハイハットクローズを含む合計5つまでメモリーします。

★打楽器の鍵盤の範囲の黒鍵は、同時に押すと音が大きくなるアクセントとして使用できます。

●カスタムアкомпニメントでは、ベースとコードの音色をそれぞれ16音色から選んでセットすることができます。付属のカスタムアкомпニメントシートを、オーケストラの上にコード音色、ソロの上にベース音色がくるようにのせてください。

**CUSTOM ACCOMPANIMENT**

PROGRAM

RHYTHM

BASS

CHORD

CLEAR

**CHORD VOICE FOR CUSTOM ACCOMPANIMENT**

ELECTRIC GUITAR	<input type="checkbox"/>	BRASS 1	<input type="checkbox"/>
JAZZ GUITAR	<input type="checkbox"/>	BRASS 2	<input type="checkbox"/>
FUZZ GUITAR	<input type="checkbox"/>	ACCORDION	<input type="checkbox"/>
FOLK GUITAR	<input type="checkbox"/>	STRINGS	<input type="checkbox"/>
BANJO	<input type="checkbox"/>	ORGAN	<input type="checkbox"/>
PIANO	<input type="checkbox"/>	PICCOLO	<input type="checkbox"/>
PERCUS	<input type="checkbox"/>	SYNTH	<input type="checkbox"/>
CHIMES	<input type="checkbox"/>	BRUSH	<input type="checkbox"/>

ON

**BASS VOICE FOR CUSTOM ACCOMPANIMENT**

BASS 1	<input type="checkbox"/>	SYNTH BASS 1	<input type="checkbox"/>
BASS 2	<input type="checkbox"/>	SYNTH BASS 2	<input type="checkbox"/>
ELECTRIC BASS 1	<input type="checkbox"/>	SYNTH BASS 3	<input type="checkbox"/>
ELECTRIC BASS 2	<input type="checkbox"/>	SYNTH BASS 4	<input checked="" type="checkbox"/>
ELECTRIC BASS 3	<input type="checkbox"/>	TIMPANI	<input type="checkbox"/>
CHOPPER	<input type="checkbox"/>	BRUSH	<input type="checkbox"/>
TUBA	<input type="checkbox"/>	ORGAN 1	<input type="checkbox"/>
PIANO	<input type="checkbox"/>	ORGAN 2	<input type="checkbox"/>

ON

ベースプログラム //////////////////////////////////////

1. カスタムアкомпニメントのベースのボタンをON。



シングルフィンガーコードが自動的にセットされ、Cコードの自動伴奏パターンが2小節単位でくり返し鳴ります。

2. ベース音色のONのボタンを押し、ベース音色セレクターで好きな音色を選びます。

ひとつ選んでON

BASS 1	<input type="checkbox"/>	SYNTH BASS 1	<input type="checkbox"/>
BASS 2	<input type="checkbox"/>	SYNTH BASS 2	<input type="checkbox"/>
ELECTRIC BASS 1	<input type="checkbox"/>	SYNTH BASS 3	<input type="checkbox"/>
ELECTRIC BASS 2	<input type="checkbox"/>	SYNTH BASS 4	<input checked="" type="checkbox"/>
ELECTRIC BASS 3	<input type="checkbox"/>	TIMPANI	<input type="checkbox"/>
CHOPPER	<input type="checkbox"/>	BRUSH	<input type="checkbox"/>
TUBA	<input type="checkbox"/>	ORGAN 1	<input type="checkbox"/>
PIANO	<input type="checkbox"/>	ORGAN 2	<input type="checkbox"/>

ON

もう1度同じボタンを押すと左右反対側の音色になります。

★最初にプログラムをONした時、ベース音色セレクターは選んだリズムにセットされているベース音色が点灯します。

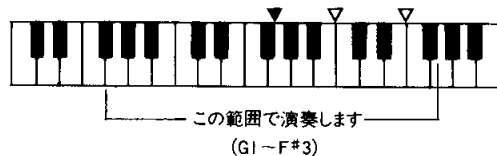
3. クリアのボタンをON。



鳴っていたオートベースコードのパターンから、ベースの音が消えます。

★ベースパターンをクリアせずに、音色だけを変更してメモリーすることもできます。

4. 鍵盤を弾いて、ベースパターンをプログラムします。



2小節パターンでプログラムします。失敗したらクリアのボタンを押せば何回でもプログラムしなおすことができます。

- ★16分音符の単位までメモリーします。
- ★(>)印の鍵盤はアクセントをつける鍵盤です。アクセントをつけたいタイミングで鍵盤を押してください。
- ★実際に出る音は押えた鍵盤より1オクターブ低い音程です。
- ★G1~F#3以外の鍵盤から音はでません。

コードバックキングのプログラム //////////////////////////////////////

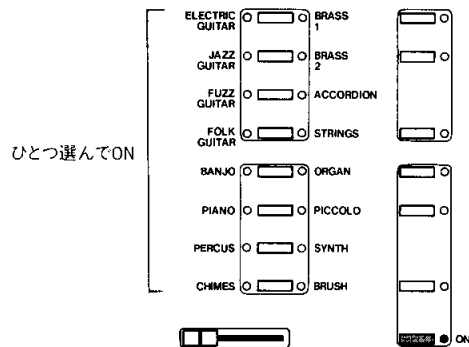
コードバックキングのプログラムには、シングルフィンガープログラムとフィンガードプログラムの2つの方法があります。シングルフィンガープログラムは、バックキングのタイミングだけを指1本で入力、フィンガードプログラムは弾いたとおりのパターンを入力することができます。

1. カスタムアкомпニメントのコードのボタンをON。



シングルフィンガーコードが自動的にセットされ、Cコードの自動伴奏パターンが2小節単位でくり返し鳴ります。

## 2. コード音色のONのボタンを押し、コード音色セレクターで好きな音色を選びます。



もう1度同じボタンを押すと左右反対側の音色になります。

★最初にプログラムをONした時に、コード音色セレクターは選んだリズムにセットされているコード音色が点灯します。

## 3. クリアのボタンをON。

CLEAR

鳴っていたオートベースコードのパターンから、コードの音が消えます。

★コードパターンをクリアせずに音色だけを変更してメモリーすることもできます。

## 4. 鍵盤を弾いて、コードバックキングのパターンをプログラムします。

—〈1. シングルフィンガープログラム〉—

最初にリズムを選んだときに、バリエーションがOFFであれば、コードストロークのタイミングのみを入力します。



(C2)この鍵盤で刻みます

プログラムしたいタイミングでC2の鍵盤を押えます。この時、他の鍵盤から音はでません。

—〈2. フィンガードプログラム〉—

バリエーションONにした場合は、演奏したとおりにパターンが入力されます。



ここで演奏します

プログラムしたいタイミングでG1～C5の鍵盤を演奏します。同時に3音まで鳴り、プログラムできます。

★方法1の場合、[>]印の鍵盤でアクセントをつけることができます。音を大きくしたいタイミングで、鍵盤を押えてください。

また、方法2の場合には、アクセントをつけることはできません。

★バリエーションのボタンはプログラムをONする前に押してください。後からONにすることはできません。

★G1～F#2までは、演奏しても1オクターブ上の音になります。

★G1～C5以外の鍵盤から音はでません。

## ■保存のしかた

### 1. 気に入ったパターンができたらかスタム1・2・3のいずれかをON。

- CUSTOM 1
- CUSTOM 2
- CUSTOM 3

★カスタムのボタンを押すと、前にメモリーしてあったパターンは自動的に消去されます。

### 2. プログラムのボタンをもう1度押して、演奏をストップ。

○ PROGRAM

これで、オリジナルのパターンがメモリーされました。メモリーさせたカスタムのボタンは、リズムセレクターと同じに使うことができます。

★いったんカスタムに保存したパターンを書きなおすこともできます。カスタムをONしてからプログラムを押して入力なおします。書きなおしたパターンは、もう1度カスタムをONして入れてください。

★カスタムのボタンを押さずにリズムのストップを押してしまった時など、創ったパターンをもう1度鳴らすには、クリアのボタンを押しながらプログラムをONします。(必ずクリアのボタンを先に押してください。)

# 「オブラディ・オブラダ」のアカンパニメントをつくろう

右のパターンをつくります。

コード

ベース

リズム

## ■リズム

1. リズムセクターでポップスを選び、バリエーションをOFFにします。

BIG BAND <input type="radio"/>	SWING		
REGGAE <input type="radio"/>	SLOW ROCK	VARIATION	<input type="radio"/>
DISCO <input type="radio"/>	HEAVY METAL	HAND CLAP 1	<input type="radio"/>
POPS <input checked="" type="radio"/>	16 BEAT	HAND CLAP 2	<input type="radio"/>
ROCK'N ROLL <input type="radio"/>	COUNTRY		
SALSA <input type="radio"/>	RHUMBA	CUSTOM 1	<input type="radio"/>
SAMBA <input type="radio"/>	BOSSANOVA	CUSTOM 2	<input type="radio"/>
MARCH/POLKA <input type="radio"/>	WALTS	CUSTOM 3	<input type="radio"/>

MIN ■■■■■ MAX    SLOW ■■■■■ FAST  
VOLUME                  TEMPO

2. プログラムのボタンをON。



3. クリアのボタンをON。



4. テンポコントロールで、テンポを調節。

SLOW ■■■■■ FAST  
 TEMPO

5. まず、バスドラムのリズムを入れます。

バスドラムのリズム

ハイハットクローズの音で鳴っているメトロノーム音を聴きながら1拍目と3拍目に鍵盤をたたきます。

6. 次にスネアドラムをたたきます。

スネアドラム(ライト)のリズム

メトロノームのリズムを聴きながら、2拍目と4拍目に入れます。

7. 最後にハイハットのリズムをたたきます。

ハイハットのリズム

リズムを「1と2と3と4」と数えながらたたくとタイミングがとりやすくなります。1拍目と3拍目のウラ（「と」と数えるタイミング）ではオープンをたたきます。また、メトロノームとして鳴っている音は、再生されませんので同じタイミングのところもたたきます。

★キャンセルの鍵盤を押えながらハイハットクローズの鍵盤を押えとメトロノーム音のみ消えます。もう一度押せばプログラムしたハイハットの音も消えます。

8. うまくできたら、ベースのボタンをON。



## ■ベース

9. ベース音色のONのボタンを押し、ベース音色セクターでエレクトリックベース1を選びます。

BASS 1 <input type="radio"/>	SYNTH BASS 1
BASS 2 <input type="radio"/>	SYNTH BASS 2
ELECTRIC BASS 1 <input checked="" type="radio"/>	SYNTH BASS 3
ELECTRIC BASS 2 <input type="radio"/>	SYNTH BASS 4 <input type="radio"/>
ELECTRIC BASS 3 <input type="radio"/>	TIMPANI
CHOPPER <input type="radio"/>	BRUSH
TUBA <input type="radio"/>	ORGAN 1
PIANO <input type="radio"/>	ORGAN 2

ON

10. クリアのボタンをON。



11. ベースのパターンを演奏してプログラムします。

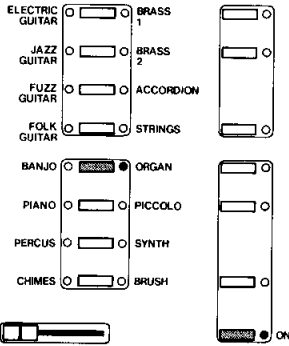
ベースパターン

12. うまくできたら、コードのボタンをON。



■コード

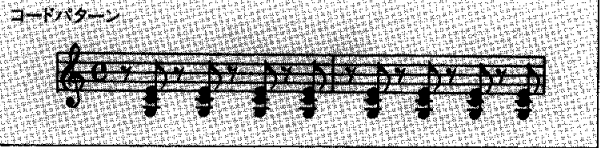
13.コード音色のONのボタンを押し、コード音色セクターでオルガンを選びます。



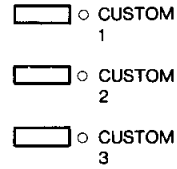
14.クリアのボタンをON。



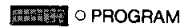
15.1本指で、C2をたたいてコードバックグを入力します。



16.うまくできたら、カスタム1・2・3のいずれかをON。



17.プログラムのボタンをもう1度押して、演奏をストップ。

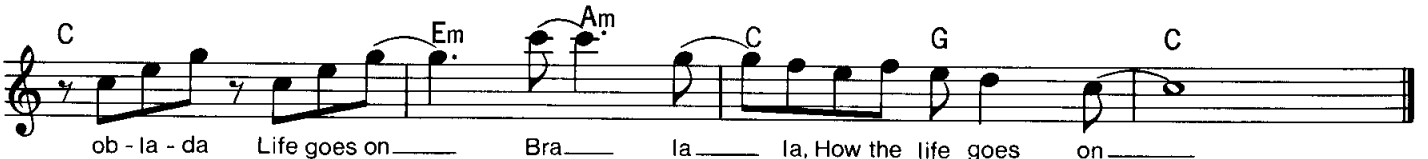
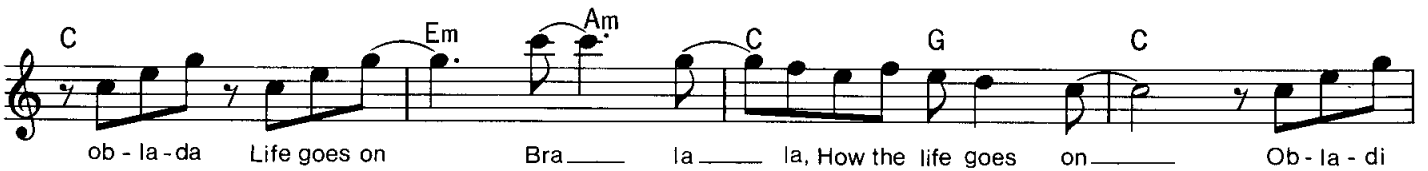
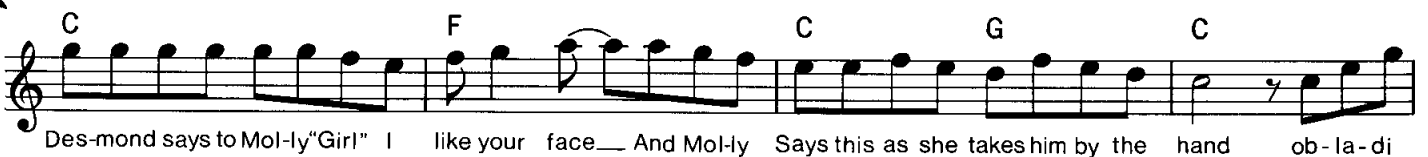


創ったパターンで弾いてみよう

# オブラディ・オブラダ

OB-LA-DI OB-LA-DA

作詞・作曲 J. Lennon & P. McCartney



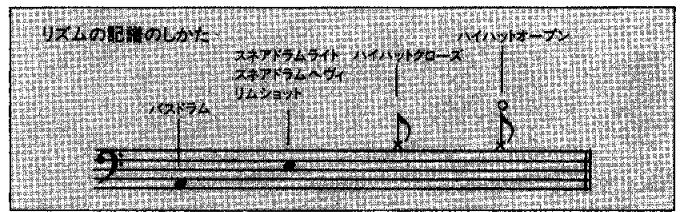
©Copyright 1968 for the World by NORTHERN SONGS LTD., London, England  
Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo  
Authorized for sale in Japan only  
日本音楽著作権協会(出)許諾第8570651-501号

★コードのおさえ方



# アカンパニメント・サンプル

カスタムアカンパニメント用のリズム&ベース、コード・パターン・サンプルです。オリジナルのアカンパニメント創りの参考にしてください。



※40ページ以降の楽譜にあるカスタムアカンパニメント用リズムパターンも上記に基いて書いてあります。

## No.1 コード全音符弾きのベーシック・パターン

**EX.1**

コード

ベース

リズム

[セレクトするリズム——ディスコ]

PSR-70にプリセットされているディスコはけっこう複雑なパターンですが、このEx.1は基本中の基本。コードは全音符で弾きのばし、典型的なチョップパーベースを入れたこのパターンは、カンタンでしかも応用範囲の広い便利モノです。コードの音色をブラスなど持続音にすると厚みのあるサウンドに。(cf. フラッシュダンス〈what a feeling〉)

**EX.2**

コード

ベース

リズム

Ex.2は、Ex.1のバリエーション。このようにバスドラムとベースのタイミングを変えれば、16ビートのバラードに使えます。(cf. 「ウイ・アー・ザ・ワールド」USA for Africa)

## No.2 4分キザミ、弾き語り風パターン

**EX.3**

コード

ベース

リズム

[セレクトするリズム——ポップス]

これも基本パターンのひとつ。バラード調ポップスによく似合う弾き語り風バックিংです。(cf. 「レット・イット・ビー」Beatles)  
このパターンの場合も、リズムとベースのタイミングをEx.2のように変えれば16ビートとなります。

## No.3 ハードロック向アカンパニメント

**EX.4**

コード

ベース

リズム

[セレクトするリズム——ポップス、バリエーションON]

No.2では4分音符で刻みましたが、これはもう少し細かく8分音符で刻んでいます。そして、ふつうCコードは「ド・ミ・ソ」ですが、まん中(3度)をぬいて「ド・ソ」にし、ファズギターで「ジャ・ジャ・ジャ・ジャ」とやるとハードロックの雰囲気がよくてです。(cf. 「ジャンプ」Van Halen)



## No.4 ニューウェーブ風アカンパニメント

**EX.5**

コード 

ベース 

リズム 

### 〔セレクトするリズム——ディスコ〕

Ex.5は、マドンナの「ライク・ア・バージン」のパターン。このようにベースを8分音符で刻むと、なんとなくニューウェーブという感じになります。このベースラインをEx.6のようにルートで8分で刻むだけでも雰囲気がありますし、応用範囲も広がります。最近の歌謡曲にも多く使われているパターン。(cf. 「天使のウインク」松田聖子、「Boyのテーマ」菊池桃子)

**EX.6**

ベース 

## No.5 コード進行が入っているフシギパターン

**EX.7**

コード 

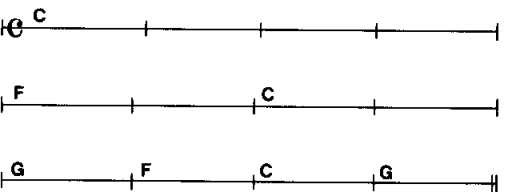
ベース 

リズム 

### 〔セレクトするリズム——スウィング、バリエーションON〕

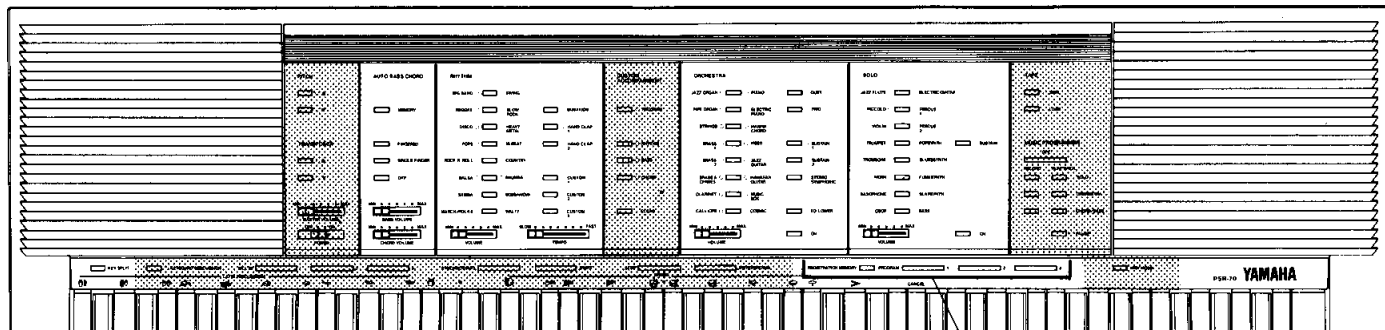
このパターンは、実際「C→F→C7→F」と2小節の中でコード進行しているもの。(ベースはCのままです。)演奏はメジャーコード専用です。曲にこのまま使えばしませんが、Ex. 8のようにシングルフィンガーで伴奏をして、ファンキーなアドリブが手軽に楽しめます。

**EX.8**



# レジストレーションメモリー

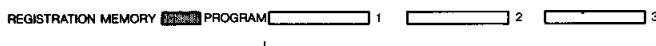
音色やリズム、効果など、パネルのセッティング(このセッティングをレジストレーションと言います。)をメモリーさせておきます。曲の途中で、音色やボリュームバランスの変更をしたり、効果を加えたりと、いくつものレジストレーション・チェンジをワンタッチで瞬時に行うことができます。ミュージックプログラマーに演奏をメモリーする時などにも便利です。



レジストレーションメモリー

1.メモリーしたいレジストレーションをセット。

2.プログラムのボタンを押しながら、レジストレーション1~3のいずれかのボタンを押します。



プログラムのボタンを押しながら  
いずれかひとつをON

1・2・3のボタンに1種類ずつ、3種類のレジストレーションをメモリー  
することができます。

●メモリーさせたレジストレーションメモリー1~3のいずれかのボタンを押せば、一瞬でそのレジストレーションにセットすることができます。

★カスタム1・2・3をセットしてメモリーさせた場合、カスタム1・2・3をセットしていたことはメモリーしますが、その演奏データまではメモリーしません。カスタム1・2・3の内容を変更すると変更したパターンが鳴ります。

## ■レジストレーションメモリーでメモリーするもの

上のパネル図の▨部分はメモリーしません。

### ソロ

- ソロ ON
- ソロ音色セレクター
- サステイン
- ソロ・ボリューム

### オーケストラ

- オーケストラ ON
- オーケストラ音色セレクター
- デュエット/トリオ
- サステイン1・2
- ステレオシンフォニック
- オーケストラ・ボリューム
- トゥ・ロワー
- キースプリット

### リズム

- リズムセレクター
- バリエーション
- ハンドクラップ
- カスタム1・2・3
- リズム・ボリューム
- テンポ

### オートベースコード

- シングルフィンガーコード
- フィンガードコード
- メモリー
- ベースボリューム
- コードボリューム

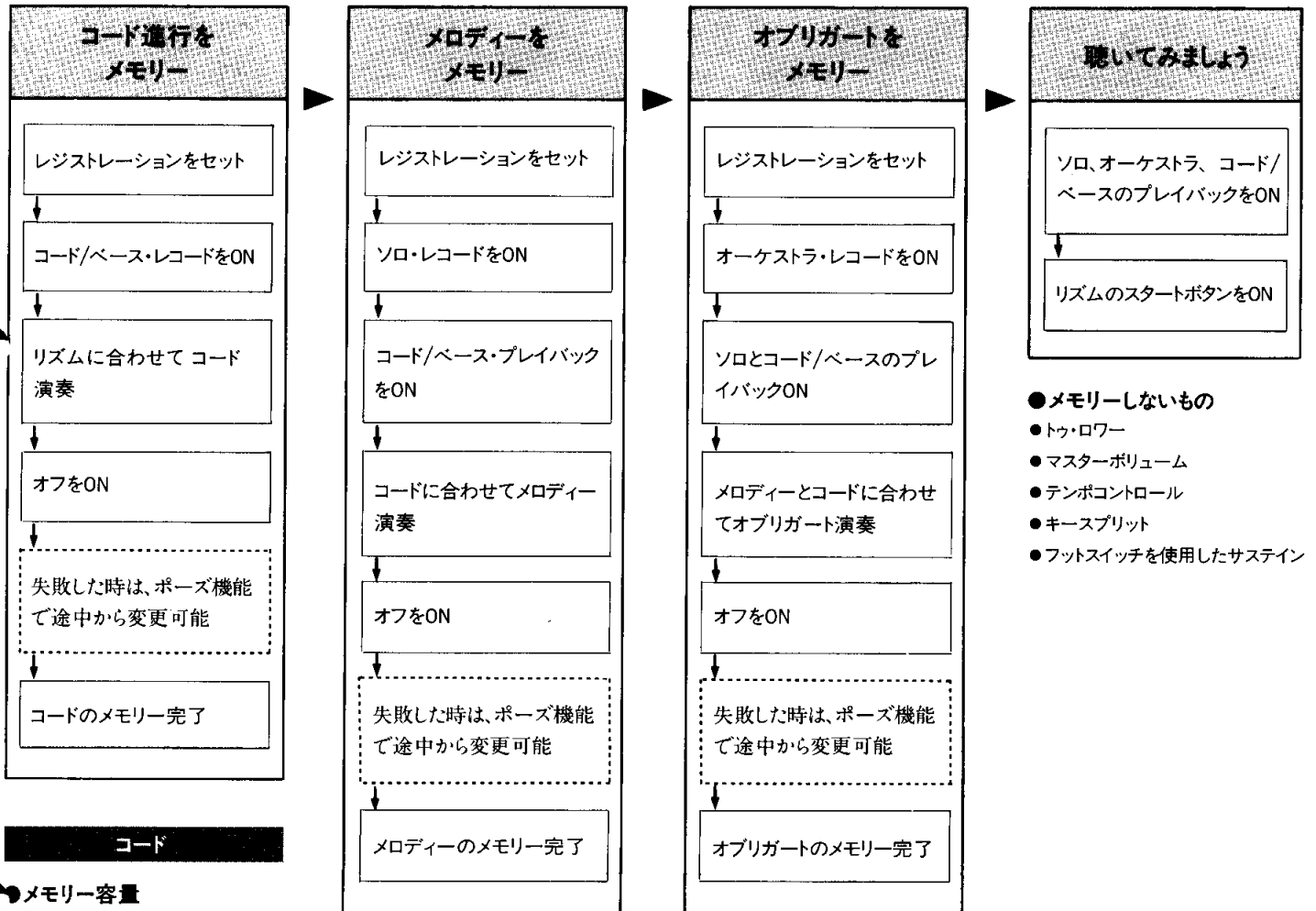
★レジストレーション1~3を押してレジストレーションをセットした時、テンポ、ボリュームなどのレバーの位置もメモリーします。

# ミュージックプログラマー

ソロ、オーケストラ、オートベースコードの3パートをそれぞれ独立したチャンネルにメモリーさせ、それらを同時に再生することができます。なお、ミュージックプログラマーにメモリーした内容は、パワースイッチを切っても最低5日間保持可能です。保存したい時はカセットインターフェイス機能(30ページ参照)をご使用ください。

## ■ミュージックプログラマー・フローチャート

ミュージックプログラマーを使って1曲をメモリーする基本的な手順です。くわしくは26～29ページをご覧ください。



### ●メモリーしないもの

- トゥ・ロー
- マスターボリューム
- テンポコントロール
- キースプリット
- フットスイッチを使用したサステイン

### コード

#### ●メモリー容量

1300バイト

[1小節に1コード入れた場合で約]  
[129～322小節]

#### ●メモリーするもの

- リズムセクター
- カスタム1・2・3
- バリエーション
- ハンドクラップ1・2
- フィルイン1・2・3
- イントロ/エンディング
- リズムボリューム
- シングルフィンガーコード
- フィンガードコード
- メモリー
- コードボリューム
- ベースボリューム

### ソロ

#### ●メモリー容量

1800バイト

[1小節に4分音符4つ入れた場合]  
[で約105～198小節]

#### ●メモリーするもの

- ソロON
- ソロ音色セクター
- ソロ・ボリューム
- サステイン(フットスイッチを使用しない場合)

### オーケストラ

#### ●メモリー容量

1800バイト

[1小節に4分音符4つ入れた場合]  
[で約105～198小節]

#### ●メモリーするもの

- オーケストラON
- オーケストラ音色セクター
- オーケストラ・ボリューム
- デュエット/トリオ
- ステレオシンフォニック
- サステイン1・2(フットスイッチを使用しない場合)

# コード/ベース

## ■メモリー(記憶)

1. リズムをセット。

ひとつ選んでON

BIG BAND   SWING

REGGAE   SLOW ROCK

DISCO   HEAVY METAL

POPS   16 BEAT

ROCK N ROLL   COUNTRY

SALSA   RHUMBA

SAMBA   BOSSANOVA

MARCH/POLKA   WALTZ

VARIATION

HAND CLAP 1

HAND CLAP 2

CUSTOM 1

CUSTOM 2

CUSTOM 3

ボリュームもセット

★テンポはメモリーされません。再生の時に調節できますので演奏しやすいテンポにしましょう。

2. コード/ベース・レコードのボタンをON。

OFF

RECORD PLAY BACK

SOLO

ORCHESTRA

CHORD/BASS

PAUSE

シンクロススタート、シングルフィンガーコード、メモリーが自動的に作動します。

- ★フィンガードコードでメモリーさせたい時は、フィンガードコードのボタンをON。
- ★コードボリューム、ベースボリュームを調節。
- ★必要に応じてバリエーション、ハンドクラップをON。
- ★キースプリットでスプリット(▼のランプ)の位置を右端にしておく、鍵盤がたらないという失敗が少なくて済みます。

3. コード演奏をして、メモリーさせます。

鍵盤をおさえるとリズムがスタートします。

- ★イントロ/エンディングでメモリーをスタートすることもできます。
- ★演奏中のフィルイン、レジストの変更もメモリーします。

4. メモリーが終わったら、オフのボタンをON。

OFF

RECORD PLAY BACK

SOLO

ORCHESTRA

CHORD/BASS

PAUSE

★リズムのストップ、イントロ/エンディングでも停止させることができます。

## ■再生

1. コード/ベース・プレイバックのボタンをON。

OFF

RECORD PLAY BACK

SOLO

ORCHESTRA

CHORD/BASS

PAUSE

シンクロススタートが自動的に作動し、スタンバイ状態になります。

2. リズムのスタート・ボタンをON。

再生がスタート。メモリーした量が終ると自動的にスタンバイ状態にもどります。

- ★鍵盤をONして再生をスタートさせることもできます。
- ★イントロ/エンディングで再生をスタートさせることもできますが、メモリー時にイントロ/エンディングを使用していないと再生の最初の2小節がイントロカウントに変わり、オートベースコードの音はできません。
- ★カスタム1・2・3を選んだ場合、メモリー後にカスタム1・2・3の内容を変更すると、変更した伴奏パターンで再生されます。

## ■変更(メモリーに失敗した時などの途中からの変更)

1. メモリーさせた演奏を再生。

2. 変更したい小節の前でポーズをON。

OFF

RECORD PLAY BACK

SOLO

ORCHESTRA

CHORD/BASS

PAUSE

★この時、リズムセクターやボリュームなどレジストレーションも変更することができます。

3. コード/ベース・レコードのボタンをON。

4. コード演奏をしてメモリーさせます。

そのまま最後まで演奏します。部分的な変更はできません。

★ポーズを1回ONするごとに、コードの時で26バイト、ソロで8バイト、オーケストラで12バイトずつメモリーを使用します。

# ソロ

## ■メモリー

1. ソロ音色セクターで、音色をひとつ選んでON。

★オーケストラ・スイッチはOFFにしておきます。

2. ソロ・レコードのボタンをON。

シンクロススタートが自動的に作動。あらかじめメモリーしたコード演奏を再生させながら弾いた方がうまくいきます。

3. リズムのスタートボタンでリズムをスタート。  
ソロ・パートを演奏してメモリーさせます。

★リズムのスタートボタンを押さないで、鍵盤を弾いてもリズムはスタートします。

4. メモリーが終わったら、オフのボタンをON。

★リズムのストップ、イントロ/エンディングでも停止させることができます。

再生したい時は、ソロ・プレイバックのボタンを押し、リズムのスタートボタンをON。また、変更したい時は再生途中でポーズをONし、ソロ・レコードのボタンを押して弾きなおします。

★ソロ音色にベースがあるので、ソロパートのチャンネルをベースチャンネルとして使用することもできます。この場合コードメモリー時にオートベースコードのベース・ボリュームは最小(MIN)にします。

★ボリュームを変化させながらメモリーした場合、再生時には4分音符単位で変化します。

# オーケストラ

## ■メモリー

1. オーケストラ音色セクターで、音色をひとつ選んでON。

★ソロ・スイッチはOFFにしておきます。

2. オーケストラ・レコードのボタンをON。

シンクロススタートが自動的に作動。あらかじめメモリーしたコードやソロの演奏を再生させながら弾いた方がうまくいきます。

3. リズムのスタートボタンでリズムをスタート。  
オーケストラ・パートを演奏してメモリーさせます。

★リズムのスタートボタンを押さないで鍵盤を弾いてもリズムはスタートします。

★演奏時には和音がですが、ミュージックプログラマーには単音しかメモリーされません。高音が優先されます。

4. メモリーが終わったら、オフのボタンをON。

★リズムのストップ、イントロ/エンディングでも停止させることができます。

再生したい時は、オーケストラ・プレイバックのボタンを押し、リズムのスタートボタンをON。また、変更したい時は、再生途中でポーズをONし、オーケストラ・レコードのボタンを押して弾きなおします。

★ボリュームを変化させながらメモリーした場合、再生時には4分音符単位で変化します。

# 「いとしのエリー」を弾いてみよう

## ■コードをメモリー

1. ポップスのリズムを選び、バリエーションをON。

BIG BAND  SWING

REGGAE  SLOW ROCK  VARIATION

DISCO  HEAVY METAL  HAND CLAP 1

POPS  16 BEAT  HAND CLAP 2

ROCK'N ROLL  COUNTRY

SALSA  RHUMBA  CUSTOM 1

SAMBA  BOSSANOVA  CUSTOM 2

MARCH/POLKA  WALTZ  CUSTOM 3

2. リズムのテンポとボリュームをセット。

MIN . . . . . MAX      SLOW . . . . . FAST

VOLUME       TEMPO

3. オートベースコードのベースとコードのボリュームをセット。

MIN . . . . . MAX

BASS VOLUME

MIN . . . . . MAX

CHORD VOLUME

4. コード/ベースレコードのボタンをON。

★シングルフィンガーコードに自動的にセットされます。フィンガードコードで演奏したい時は、フィンガードコードのボタンをON。

5. 楽譜を見ながらコード演奏をしてメモリーさせます。

6. メモリーが終わったら、オフのボタンをON。

## ■コードを再生させながらメロディーをメモリー

7. ソロ音色セクターで、エレクトリックギターを選びます。

8. ソロ・ボリュームを調節。

JAZZ FLUTE  ELECTRIC GUITAR

PICCOLO  PERCUS 1

VIOLIN  PERCUS 2

TRUMPET  POPSYNTH  SUSTAIN

TROMBONE  BLUESYNTH

HORN  FUNKSYNTH

SAXOPHONE  SLAPSYNTH

OBOE  BASS

MIN . . . . . MAX

VOLUME       ON

9. コード/ベース・プレイバックとソロ・レコードのボタンをON。

OFF

RECORD    PLAY BACK

SOLO

ORCHESTRA

CHORD/BASS

PAUSE

10. リズムのスタートボタンでコードの再生がスタート、メロディーを弾いてメモリーさせます。

SYNCHRO START   START

4小節目の4拍目からメロディー演奏スタート。

11. メモリーが終わったら、オフのボタンをON。

## ■コードとメロディーの再生にあわせてオブリガートをメモリー

12. オーケストラ音色セクターで、ジャズオルガンを選びます。

13. オーケストラ・ボリュームを調節。

JAZZ ORGAN  PIANO  DUET

PIPE ORGAN  ELECTRIC PIANO  TRIO

STRINGS  HARPSICHORD

BRASS 1  VIBES  SUSTAIN 1

BRASS 2  JAZZ GUITAR  SUSTAIN 2

BRASS & CHIMES  HAWAIIAN GUITAR  STEREO SYMPHONIC

CLARINET  MUSIC BOX

CALLIOPE  COSMIC  TO LOWER

MIN . . . . . MAX

VOLUME

14. コード/ベース、ソロのプレイバックとオーケストラ・レコードのボタンをON。

OFF

RECORD    PLAY BACK

SOLO

ORCHESTRA

CHORD/BASS

PAUSE

15. 演奏をスタート。

コード/ベースとソロが再生されます。

あわせてオブリガートを演奏してメモリーさせます。

16. メモリーが終わったら、オフのボタンをON。

## ■コード、メロディー、オブリガートを同時に再生

17. コード/ベース、ソロ、オーケストラのプレイバックをON。

OFF

RECORD    PLAY BACK

SOLO

ORCHESTRA

CHORD/BASS

PAUSE

18. リズムのスタート・ボタンをON。

SYNCHRO START   START

メモリーさせた、3パートのアンサンブルが再生されます。

★メモリーした演奏量が終われば、自動的に演奏はスタンバイ状態に戻ります。停止させたい時は、オフのボタンをON。

# いとしのエリー

作曲/桑田佳祐

オートベース  
コード

C D7 F Em Dm7 G7

ソロ

オーケストラ

C Em C7 F

Dm7 G7 C D7 F G7 C

©1979 by P.M.P & Buring Music Pub.  
日本音楽著作権協会(出)許諾第8570651-501号

★コードのおさえ方



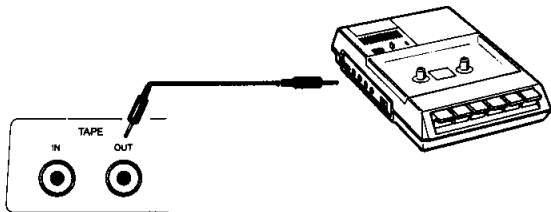
# テープ (カセットインターフェイス)

ミュージックプログラマーやカスタムアカンパニメントにメモリーした演奏データを外部テープにデジタル録音することができます。

## ■セーブ データの録音

〈PSR-70→カセットテープ〉

1. PSR-70のTAPE OUT端子とデータレコーダのMIC IN端子をコードで接続。

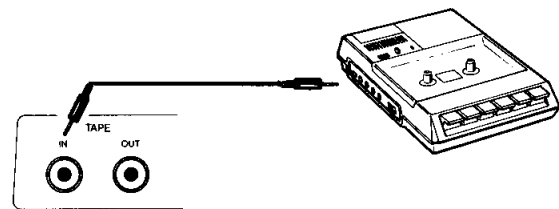


2. カセットテープをデータレコーダにセット。何も記録されていない部分をさがします。
3. データレコーダの録音スイッチをON。
4. セーブのボタンをON。
5. セーブが完了すると、セーブのランプが自動的に消灯。データレコーダのスイッチをOFFにします。

## ■ロード データの読み込み

〈カセットテープ→PSR-70〉

1. PSR-70のTAPE IN端子とデータレコーダのHEADPHONES端子(EARPHONE端子)をコードで接続。



2. カセットテープをデータレコーダにセット。記録させてあるところまでテープを巻き戻します。
3. ロードのボタンをON。
4. データレコーダの再生スイッチをON。
5. ロードが完了すると、ロードのランプが自動的に消えます。

★ロードをすると、そのとき本体にメモリーされていたデータは消去されます。

## NOTE

- ★セーブ、ロードがONされている時、鍵盤から音はでません。
- ★セーブ、ロードに要する時間は、データの量によって異なりますが、最大45秒です。
- ★接続が不完全であったり、データレコーダとのマッチングが悪い場合ロードのランプが点灯したまま、または点滅状態になります。ボタンをもう1度おしてランプを消し、接続などを確認してからやりなおしてください。

★セーブ、ロードがうまくいかない場合、次のチェック項目にそって確認してください。

- ①再生時にデータレコーダのロードボリュームツマミを中央より高め(10段階目盛では6~8)に合わせてください。レベルが大きすぎても読み込みません。
- ②データレコーダの録音・再生操作は間違っていないか。  
(録音したあと、データレコーダからコードを抜いてテープを再生してください。ピーという音が出れば録音されています。ピーという音がでない場合はコードなどを確認してください。)
- ③データレコーダのヘッドが汚れていませんか。録音、再生ヘッドのクリーニングを試みてください。
- ④テープを確認してください。
  - テープはコンピュータ用のものか、あるいはオーディオ用の場合はノーマルテープ、ローノイズタイプの30分か45分のものをご使用ください。
  - テープ面に折り目、継目、シワがないことを確認してください。
  - 新しいテープをご使用ください。また、テープの巻き始めはシワなどによってエラーとなることがありますので、少し空送りしてからご使用ください。

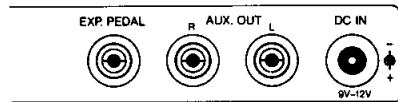
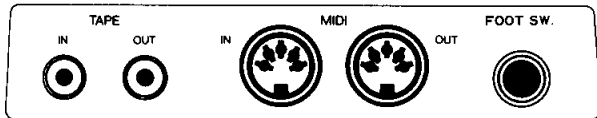
★データレコーダによっては、セーブ、ロードができない場合もあります。その場合は、裏表紙記載の各電音サービスセンターにご相談ください。

推奨データレコーダ〈参考〉

- NEC(PC-6082)
- サンヨー(MR-11DR)…モード切替(ノーマル/データスイッチ)をノーマルに、フェイズをOFFにしてご使用ください。
- アイワ(DR-2)…フェイズをOFFにしてご使用ください。



# 付属端子とオプション



ポータートの本体背面には、図のような外部端子がついています。これらを活用すれば、ポータートの楽しさはいっそう拡がります。(ヘッドホンは左前にあります。)

## 1. HEADPHONES端子

ヘッドホンを使えば、夜間などでも周囲を気にすることなく演奏を楽しむことができます。この端子にヘッドホンを接続してください。ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでも使えます。

## 2. TAPE端子

ミュージックプログラマーに記憶させた演奏データをカセットテープに保存したり、またテープから本体に戻したりする時に使います。(くわしくは30ページを参照してください。)

## 3. MIDI端子

他のデジタル楽器やコンピューターと接続して、情報交換する時に使います。(くわしくは32～35ページを参照してください。)

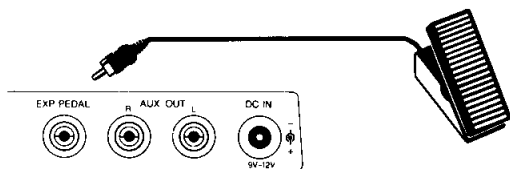
## 4. FOOT SW. 端子

足でサスティンのON/OFFをコントロールするフットスイッチ[FC-5]を接続する端子です。



## 5. EXP. PEDAL端子

エクスプレッションペダル[EP-1]は、足で自由に音量を調節でき、演奏に表情をつけることができるペダルです。このEXP. PEDAL端子に接続してお使いください。



## 6. AUX OUT端子

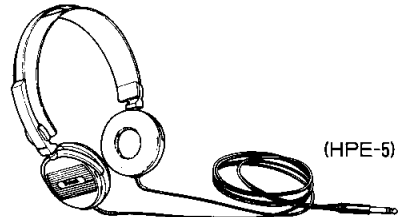
ご家庭のオーディオなど出力の大きなスピーカーに接続すると、イキイキとした迫力あるサウンドをいっそうお楽しみいただけます。この端子を使って、オーディオなどのLINE IN端子に接続してください。

## 7. DC IN(9-12V)端子

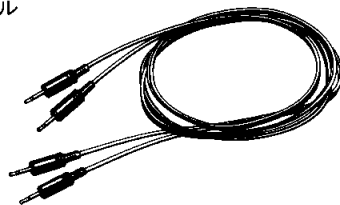
家庭用コンセントから電源をとるときに使う端子です。専用アダプター[PA-4]を接続してください。

## オプション(別売付属品)

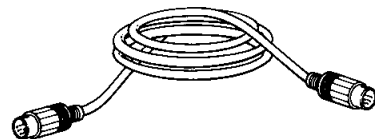
- ステレオヘッドホン  
[HPE-5] ¥5,500  
[HPE-3] ¥3,000



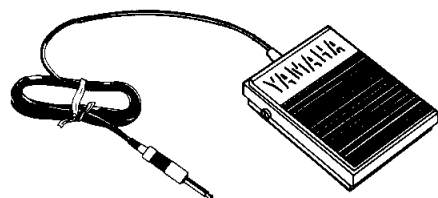
- カセットインターフェースケーブル  
[PSC-4] ¥1,000



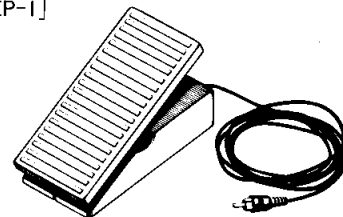
- MIDIケーブル  
[MIDI-15] 15m ¥3,000  
[MIDI-03] 3m ¥1,100



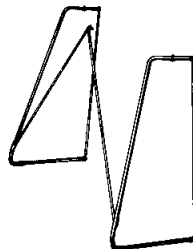
- フットスイッチ[FC-5]  
¥1,500



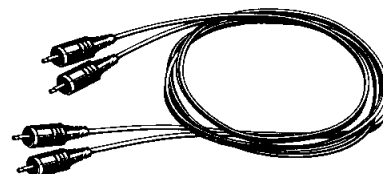
- エクスプレッションペダル[EP-1]  
¥2,400



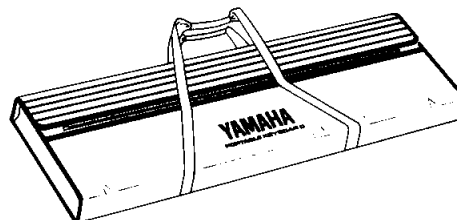
- スタンド[L-2]  
¥6,000



- 接続コード[PSC-3] (ステレオ)  
¥1,000



- 専用ソフトケース[SCC-12]  
¥6,000



# MIDI

ポータートーンPSR-70は、MIDI規格のオールデジタルキーボード。MIDI端子を使って多彩なプレイを楽しめます。MIDIに関する詳細は別冊「MIDIハンドブック」を参照してください。

## ■What's MIDI ?

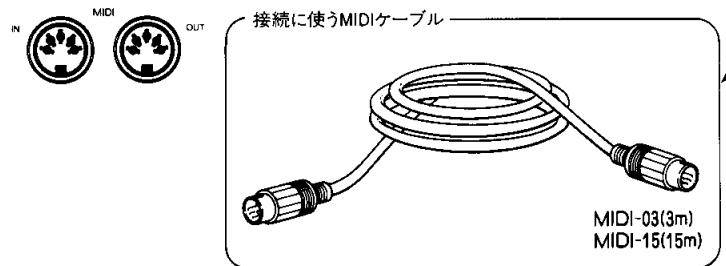
MIDI(ミディ)は、Musical Instrument Digital Interface(ミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス)の略で、日本語にすると「楽器間デジタル通信」。つまり、電子楽器どうし(またはコンピュータ)が、うまく

コミュニケーションをとりあい、その演奏情報を互いに交換するためのもの。そして、このMIDIは世界の電子楽器の統一規格。どこのメーカーの製品でもMIDI端子がついていれば、情報交換をすることができるのです。

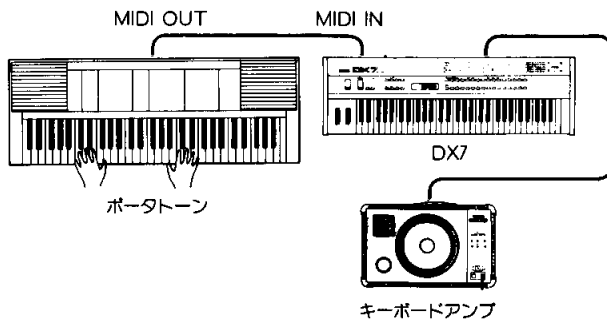
## ■ともかく、つないでみよう

### ●接続のしかた

MIDI端子は、その名のとおりMIDI OUTが演奏情報の出力、MIDI INが入力に使う端子です。そこで、①という楽器のMIDI OUTと②という楽器のMIDI INをMIDIケーブルで接続すれば、①で演奏した内容が②に送られるわけです。この①の楽器を「マスター」(親機)、②の楽器を「スレーブ」(子機)と呼びます。

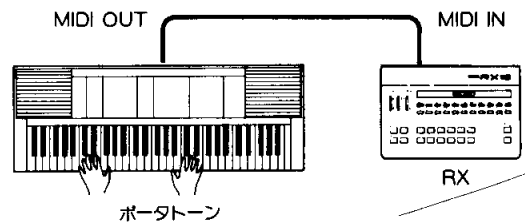


### ●デジタルシンセサイザーDX7との接続



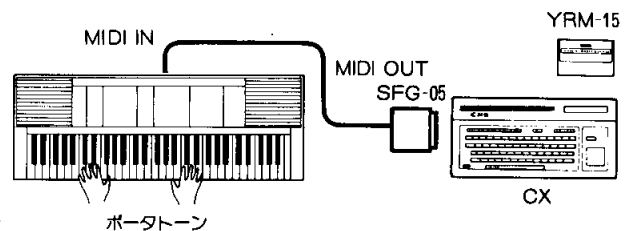
上の図のように、ポータートーンのMIDI OUTとDX7のMIDI INを接続すれば、ポータートーンで演奏するだけでDX7からも音をだすことができます。つまり、どの鍵盤を押えたか(キーノート)などの情報が瞬時にDX7に伝えられ、ユニゾンで演奏させるのです。この時、ポータートーンのオーケストラ音色セレクターで音色を変更すると、DX7の音色も連動して変わりますので、音色をうまく組み合わせ、厚みのあるサウンドを創りだすことができます。また、DX7のMIDI OUTとポータートーンのMIDI INを接続すれば、DX7を演奏してポータートーンを鳴らすことができます。

### ●リズムマシンRXとプレイ



ポータートーンのリズムもPCM音源だけあってなかなかの迫力ですが、もっとラテンっぽいリズムの華やかな曲を雰囲気だして演奏したいとか、曲の途中でドラムソロを入れたい、なんていうときは、リズムマシンRXと図のように接続。また、たとえばRX15なら10曲分もメモリーすることができるので、あらかじめドラムパートをメモリーさせておき、ポータートーンのリズムとあわせてツインドラムで楽しむこともできます。

### ●パソコンでポータートーン自動演奏



自分でプレイするかわりに、パソコンでポータートーンに演奏させるという楽しみ方もできます。たとえばヤマハMSXパソコンCXシリーズには、ミュージックコンポーザー(YRM-55という音楽入力ソフトがありますので、これを使って、演奏させたい曲を打ち込むだけ。ポータートーンが自動演奏してくれます。音色は、曲のイメージにあわせて自由に選べます。

# MIDIを使いこなそう

<p><b>ORCHESTRA</b></p> <p>(送信) チャンネル指定 (受信)</p> <p>JAZZ ORGAN <input type="radio"/> ④ <input type="radio"/> PIANO</p> <p>PIPE ORGAN <input type="radio"/> ⑤ <input type="radio"/> ELECTRIC PIANO</p> <p>STRINGS <input type="radio"/> ⑥ <input type="radio"/> HARPSICHORD</p> <p>BRASS <input type="radio"/> ⑦ <input type="radio"/> VIBES</p> <p>BRASS 2 <input type="radio"/> ⑧ <input type="radio"/> JAZZ GUITAR</p> <p>BRASS &amp; CHIMES <input type="radio"/> ⑨ <input type="radio"/> HAWAIIAN GUITAR</p> <p>キーノートオンリー</p> <p>CLARINET <input type="radio"/> ⑩ <input type="radio"/> MUSIC BOX</p> <p>MIDIクロック</p> <p>INT./EXT.切り換え</p> <p>CALLIOPE <input type="radio"/> ⑪ <input type="radio"/> COSMIC</p>	<p><b>RHYTHM</b></p> <p>ローカル ON/OFF</p> <p>BIG BAND <input type="radio"/> ⑫ <input type="radio"/> SWING</p> <p>パネルデータ送信</p> <p>REGGAE <input type="radio"/> ⑬ <input type="radio"/> SLOW ROCK</p> <p>データダンプ</p> <p>DISCO <input type="radio"/> ⑭ <input type="radio"/> HEAVY METAL</p> <p>POPS <input type="checkbox"/> ⑮ 16 BEAT</p> <p>ROCK N ROLL <input type="checkbox"/> ⑯ COUNTRY</p> <p>SALSA <input type="checkbox"/> ⑰ RHUMBA</p> <p>SAMBA <input type="checkbox"/> ⑱ BOSSANOVA</p> <p>MARCH/POLKA <input type="checkbox"/> ⑳ WALTZ</p>
---	--

PSR-70のMIDIでは、次の情報を送信・受信することができます。

1. キーノートON/OFF (鍵盤押鍵情報)
2. プログラムチェンジ (オーケストラ音色の選択)
3. コントロールチェンジ (オーケストラのサステイン、ボリューム)
4. MIDIクロック、スタート/ストップ
5. ミュージックプログラマーに記憶させた演奏データの送受信
6. ソロ、オーケストラ、コード、ベース、リズムの各パート別のキーノート、プログラムチェンジ、コントロールチェンジの送信、ならびに同時別チャンネル受信

★次のものは送・受信しません。

1. ベロシティ、ベンダーなど、PSR-70にない機能の情報
2. PSR-70の音域(C1~C6)以外のキーノート

★電源ON時状態は次のとおりです。

パワースイッチを入れ直すと、常にこの状態になります。

- クロックはINT. (インターナル)クロック
- オムニ・オン/ポリ

## ■MIDIモード設定

MIDIモードのボタンを押している時は、オーケストラ音色セレクターのボタンが上の図のような機能に変わります。

★リズムがスタートしているとMIDIモードの設定はできません。

### ④チャンネル指定モード

電源オン(オムニ・オン)の状態だと送られてきた情報すべてを受信します。そこで必要な情報だけを選択して送・受信できるよう、MIDIでは情報にチャンネルナンバーを指定することができます。つまり、マスターの送信チャンネルとスレーブの受信チャンネルのナンバーを同じにすれば、マスターの演奏情報をスレーブがキャッチし、ナンバーが合わないと無視します。これは、テレビのチャンネルと同じようなもの。各テレビ局が特定のチャンネルで送信し、受け手はそれにテレビのチャンネルを合わせます。MIDIでは送信・受信それぞれ1~16まで選べます。

### ■操作

#### <送信チャンネル指定>

① MIDIモードのボタンを押しながら④「チャンネル指定モード」スイッチをON。ジャズオルガンのランプを点灯させ、送信のモードにします。

② MIDIモードのボタンを押したまま、鍵盤でチャンネルを指定します(右図参照)。

#### <受信チャンネル指定>

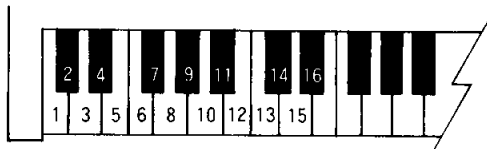
① MIDIモードのボタンを押しながら④「チャンネル指定モード」スイッチをON。ピアノのランプを点灯させ、受信のモードにします。

② MIDIモードのボタンを押したまま、鍵盤でチャンネルを指定します(右図参照)。

●さらに、MIDIモードのボタンを押したまま、④「チャンネル指定モード」スイッチをONすると、ランプが消えて再びオムニ・オンの状態に戻ります。オムニ・オンに戻しても、前に指定した送・受信チャンネルは電源を切らない限りおぼえています。

MIDI MODE

★チャンネルの指定に使う鍵盤は左端16鍵です。



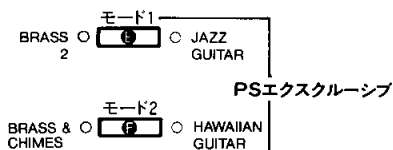
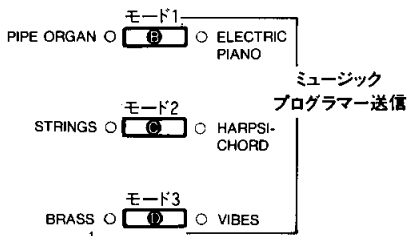
指定したチャンネルナンバーの鍵盤を押します。

★指定したチャンネルナンバーは、テンポランプで図のように2進表示されます。

チャンネルナンバー	テンポランプの点灯	チャンネルナンバー	テンポランプの点灯
1	● ○ ○ ○	9	● ○ ○ ●
2	● ● ○ ○	10	● ● ○ ○
3	● ● ● ○	11	● ● ● ●
4	○ ○ ● ○	12	○ ○ ● ●
5	● ○ ● ○	13	● ○ ● ●
6	○ ● ● ○	14	○ ● ● ●
7	● ● ● ○	15	● ● ● ●
8	○ ○ ○ ●	16	○ ○ ○ ○

## ORCHESTRA

(送信) チャンネル指定 (受信)  
JAZZ ORGAN ○  ④ ○ PIANO



## RHYTHM

ローカル  
ON/OFF  
BIG BAND ○  ⑫ ○ SWING

パネルデータ送信  
REGGAE ○  ⑬ ○ SLOW ROCK

データダンプ  
DISCO ○  ⑭ ○ HEAVY METAL

POPS ○  ⑮ ○ 16 BEAT

ROCK'N ROLL ○  ⑯ ○ COUNTRY

SALSA ○  ⑰ ○ RHUMBA

SAMBA ○  ⑱ ○ BOSSANOVA

MARCH/POLKA ○  ⑲ ○ WALTZ

### ⑤ミュージックプログラマー送信モード1

### ⑥ミュージックプログラマー送信モード2

ミュージックプログラマーに記憶させた演奏データを他のキーボードに送信し、その音源を使用して演奏させたい時に使うモードです。

⑤モード1か⑥モード2の選択はスレーブにする楽器によって選択します。スレーブにする楽器がシングルフィンガーコード形式の自動伴奏機能を持っている場合はモード1、フィンガードコード形式の自動伴奏の時はモード2にします。

#### ■操作■

##### <モード1>

1. MIDIモードのボタンを押しながら⑤「ミュージックプログラマー送信モード1」のボタンをON。パイプオルガンのランプが点灯。
2. スレーブにしたキーボードのクロックをEXT. (エクスターナル) クロックにし、さらにリズムとシングルフィンガーコードをセット。
3. ミュージックプログラマーのプレイバックをON。演奏をスタートさせると同時に相手のキーボードも演奏をはじめます。

##### <モード2>

1. MIDIモードのボタンを押しながら⑥「ミュージックプログラマー送信モード2」のボタンをON。ストリングスのランプが点灯。
2. スレーブにしたキーボードのクロックをEXT. (エクスターナル) クロックにし、さらにリズムとフィンガードコードをセット。
3. ミュージックプログラマーのプレイバックをON。演奏をスタートさせます。

### ⑭ミュージックプログラマー送信モード3

このモードにすると、ミュージックプログラマーに記憶させた演奏データをソロ、オーケストラ、ベース、コードのパート別に違うチャンネルで送信することができます。⑤⑥のモードとは異なり、ベースやコードもキーノートとして送信するので、自動伴奏機能を持たないキーボードやシンセサイザーの音色でPSR-70のオートベースコードパターンを演奏させることができます。

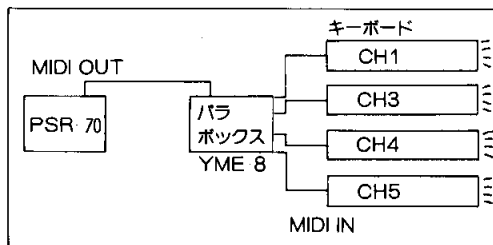
#### ■操作■

1. MIDIモードのボタンを押しながら⑭「ミュージックプログラマー送信モード3」のボタンをON。プラス1のランプが点灯。
2. スレーブにしたキーボードの受信チャンネルを、鳴らしたいパートのチャンネルに設定します。
3. ミュージックプログラマーのプレイバックON。演奏をスタートさせます。

★各パートの送信チャンネルは次のとおり(変更はできません)。

- CH1-オーケストラ
- CH3-ベース
- CH4-ソロ
- CH5-コード

★パラボックスを使えば、パート別に4台の楽器で演奏させることができます。



## ⑤ PSエクスクルーシブモード1

標準MIDIで送信・受信できるプログラムチェンジ、コントロールチェンジはオーケストラのみですが、このモードにするとPSR-70のすべてのパネル状態を以下のようにチャンネル別のプログラムチェンジ、コントロールチェンジとして送信・受信できます。

### ■操作■

- MIDIモードのボタンを押しながら⑤「PSエクスクルーシブモード1」のボタンをON。プラス2のランプが点灯。これで自動的にパネル状態がチャンネル別に振り分けられ、送信・受信可能状態になります。

★各パートのチャンネルは次のとおり(変更はできません)。

- CH1-オーケストラ(音色、サステイン、ボリューム)
- CH3-ベース(音色、ボリューム)
- CH4-ソロ(音色、サステイン、ボリューム)
- CH5-コード(音色、ボリューム)
- CH15-リズム(リズムの種類、ボリューム)
- CH16-その他(テンポ、トランスポーザー他)

## ⑥ PSエクスクルーシブモード2

このモードでは、⑤のPSエクスクルーシブモード1と同様に各パートがチャンネルごとに振り分けられ、加えて、そのチャンネルでキーノートの送・受信もできます。(各パートのチャンネルは⑤のモード1と同じです)

そこで、外部からのシーケンスによって各チャンネルの音源をコントロールすれば、完全自動演奏を楽しむことができます。

### ■操作■

- MIDIモードのボタンを押しながら⑥「PSエクスクルーシブモード2」のボタンをON。プラス & チャイムのランプが点灯。

★推奨のシーケンス用機器

- MSXパソコン {CX11} + {CX7M/128} + {●ミュージックコンポーザー [YRM-15]  
●MIDIレコーダー [YRM-31]}
- デジタルシーケンスレコーダー [QX-7]

★送信する場合は、1度にひとつのチャンネルしか選択できません。

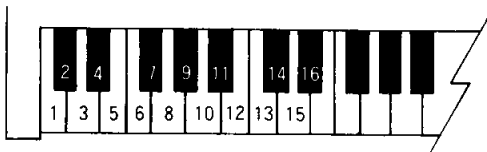
チャンネル指定のしかたは、[④チャンネル指定モード]をご参照ください。

### ●チャンネル別INT./EXT.切り換え

⑥のモードにすると、自動的に各チャンネルのキーノートがEXT.側にセットされ、MIDIからキーノートを送ってやることにより音がでる状態になります。(本体の鍵盤を押しても音はでません。)本体の鍵盤で音を出したい時は、鍵盤によってそのパートのチャンネルをINT.側にします。

### ■操作■

- MIDIモードのボタンを押しながら、下図のように鍵盤を押えると発音し、そのチャンネルのみINT.に切り換えられます。
- もう1度同じ鍵盤を押えると、今度は音が鳴らず、再びEXT.に戻ります。



切り換えたいチャンネルナンバーの鍵盤を押します。

★INT.にセットしたチャンネルはMIDIから受信することはできません。

## ⑦ キーノートオンリーモード

マスターとスレーブの間で、コントロールチェンジ、プログラムチェンジの情報を送・受信したくない時に使います。キーノート、クロック以外のデータは一切送・受信しません。

### ■操作■

- MIDIモードのボタンを押しながら⑦「キーノートオンリーモード」のボタンをON。クラリネットのランプが点灯。

## ⑧ MIDIクロックINT./EXT.切り換え

たとえばRXとポータートーンのようにリズム機能を持った2台の楽器を接続する時、そのテンポを同期させるためには、マスターのクロックをINT.(インターナル)、スレーブの方をEXT.(エクスターナル)にする必要があります。

### ■操作■

- <INT.→EXT.>  
MIDIモードのボタンを押しながら⑧「MIDIクロックINT./EXT.切り換えモード」スイッチをON。カリオペのランプを点灯。
- <EXT.→INT.>  
EXT.にするのと同じ操作でランプを消灯させます。

## ⑨ ローカルON/OFF

このモードにすると、ポータートーン本体からは鍵盤を押しても音が出なくなり、その演奏データを受信しているキーボードのみが発音します。

### ■操作■

- MIDIモードスイッチを押しながら、リズムセクターの⑨「ローカルON/OFF」のボタンをON。ビッグバンドのランプが点灯するとローカルONの状態。

## ⑩ パネルデータ送信

PSR-70どうしをMIDI接続している時、一瞬でパネル状態を送ることができます。

### ■操作■

- MIDIモードのボタンを押しながら⑩「パネルデータ送信モード」のボタンをON。押した瞬間に2台のキーボードのパネル状態は同じになります。

## ⑪ データダンプ

ミュージックプログラマーに記憶させた演奏データを、もう1台のPSR-70のRAMに転送することができます。

### ■操作■

- MIDIモードのボタンを押しながら⑪「データダンプモード」のボタンをON。押した瞬間に演奏データが転送されます。

★最初のセッティング

<b>AUTO BASS CHORD</b> <input checked="" type="checkbox"/> MEMORY <input type="checkbox"/> FINGERED <input checked="" type="checkbox"/> SINGLE FINGER <input type="checkbox"/> OFF MIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MAX BASS VOLUME MIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MAX CHORD VOLUME	<b>RHYTHM</b> BIG BAND <input type="checkbox"/> SWING REGGAE <input type="checkbox"/> SLOW ROCK DISCO <input type="checkbox"/> HEAVY METAL POPS <input checked="" type="checkbox"/> 4 BEAT ROCK N' ROLL <input type="checkbox"/> COUNTRY SALSA <input type="checkbox"/> RUMBA SAMBA <input type="checkbox"/> BOSSANOV MARCH/POLKA <input type="checkbox"/> WALTZ VARIATION <input checked="" type="checkbox"/> HAND CLAP 1 HAND CLAP 2 CUSTOM 1 CUSTOM 2 CUSTOM 3 MIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MAX VOLUME SLOW <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> FAST TEMPO	<b>CUSTOM ACCOMPANIMENT</b> <input type="checkbox"/> PROGRAM <input type="checkbox"/> RHYTHM <input type="checkbox"/> BASS <input type="checkbox"/> CHORD <input type="checkbox"/> CLEAR	<b>ORCHESTRA</b> JAZZ ORGAN <input type="checkbox"/> PIANO <input type="checkbox"/> DUET PIPE ORGAN <input checked="" type="checkbox"/> ELECTRIC PIANO STRINGS <input type="checkbox"/> HARP/CHORD BRASS 1 <input type="checkbox"/> VIBES BRASS 2 <input type="checkbox"/> JAZZ GUITAR BRASS & CHIMES <input type="checkbox"/> HAWAIIAN GUITAR CLARINET <input type="checkbox"/> MUSIC BOX CALLIOPE <input type="checkbox"/> COSMIC <input type="checkbox"/> TO LOWER <input type="checkbox"/> ON MIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MAX VOLUME	<b>SOLO</b> JAZZ FLUTE <input type="checkbox"/> ELECTRIC GUITAR PICCOLO <input checked="" type="checkbox"/> PERCUS 1 VOLIN <input type="checkbox"/> PERCUS 2 TRUMPET <input type="checkbox"/> POPSYNTH <input type="checkbox"/> SUSTAIN TROMBONE <input type="checkbox"/> BLUESYNTH HORN <input type="checkbox"/> FUNKSYNTH SAXOPHONE <input type="checkbox"/> SLAPSYNTH OBOE <input type="checkbox"/> BASS <input type="checkbox"/> ON MIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MAX VOLUME	<b>TAPE</b> <input type="checkbox"/> BAKE <input type="checkbox"/> LOAD <b>MUSIC PROGRAMMER</b> <input type="checkbox"/> OFF <input type="checkbox"/> RECORD <input type="checkbox"/> PLAY BACK <input type="checkbox"/> SOLO <input type="checkbox"/> ORCHESTRA <input type="checkbox"/> CHORD/BASS <input type="checkbox"/> PAUSE
--	--	---	---	--	--

## ヒア・ゼア & エブリウェア

Here There and Everywhere

作曲/J. Lennon & P. McCartney

ソロ

E.PIANO+SUS.

オーケストラ

PICCOLO

オートベースコード

POPS+VARI.

↑ FILL IN①

G Bm B<sup>b</sup> Am D7 G Am Bm C

G Am Bm C F<sup>#</sup>m7 B7 F<sup>#</sup>m7 B7 Em Am

STRINGS+SUS.

D7

↑ FILL IN②

G Am Bm C G Am Bm C

G	Bm	B <sup>b</sup>	Am	D7	C	F <sup>#</sup> m7
B7	Em	F7	Gm	Cm	Cm7	

F#m7 B7 | F#m7 B7 | Em Am | D7 F7

↑ FILL IN①

B $\flat$  Gm | Cm D7 | Gm Cm7 | D7

G Am | Bm C | G Am | Bm C | F#m7 B7

F#m7 B7 | Em Am | D7 F7 | D7 G Am

↑ FILL IN①

Bm C | G Am | Bm C | G

©Copyright 1966 for the World by NORTHERN SONGS LTD., London, England  
 Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo  
 Authorized for use and distribution in Japan only.

日本音楽著作権協会(出)特許第8570651-501号

### Playing Note

ビートルズのヒットナンバー。スローバラードの名曲です。メロディーのタイに注意しましょう。

#### 1. コードをメモリー

2拍ずつ細かくコードが変わるので、難しかったらテンポをゆっくりにしてメモリーさせます。

#### 2. ソロをメモリー

イントロはお休み。リズムスタートでコード再生させ、あわせてメロディーをメモリー。

#### 3. オーケストラをメモリー

出だしは8分休符。リズムスタートでメロディーとコードの再生をスタートさせて、オブリガートの演奏をはじめます。タイミングに気をつけて。ストリングスに音色を変えるところでボリュームを少し小さくします。お休みしている間にパネル操作をしましょう。

<p><b>AUTO BASS CHORD</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> MEMORY</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> FINGERED</p> <p><input type="checkbox"/> SINGLE FINGER</p> <p><input type="checkbox"/> OFF</p> <p>MIN ████████ MAX</p> <p>BASS VOLUME</p> <p>MIN ████████ MAX</p> <p>CHORD VOLUME</p>	<p><b>RHYTHM</b></p> <p>BIG BAND <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> SWING</p> <p>REGGAE <input type="checkbox"/> SLOW ROCK <input type="checkbox"/> VARIATION <input type="checkbox"/></p> <p>DISCO <input type="checkbox"/> HEAVY METAL <input type="checkbox"/> HAND CLAP <input type="checkbox"/></p> <p>POPS <input type="checkbox"/> 16 BEAT <input type="checkbox"/> HAND CLAP <input type="checkbox"/></p> <p>ROCK N ROLL <input type="checkbox"/> COUNTRY</p> <p>SALSA <input type="checkbox"/> RHAMBA <input type="checkbox"/> CUSTOM 1</p> <p>SAMBA <input type="checkbox"/> BOSSANOWA <input type="checkbox"/> CUSTOM 2</p> <p>MARCH/POLKA <input type="checkbox"/> WALTZ <input type="checkbox"/> CUSTOM 3</p> <p>MIN ████████ MAX</p> <p>VOLUME</p> <p>MIN ████████ MAX</p> <p>TEMPO</p>	<p><b>CUSTOM ACCOMPANIMENT</b></p> <p><input type="checkbox"/> PROGRAM</p> <p><input type="checkbox"/> RHYTHM</p> <p><input type="checkbox"/> BASS</p> <p><input type="checkbox"/> CHORD</p> <p><input type="checkbox"/> CLEAR</p>	<p><b>ORCHESTRA</b></p> <p>JAZZ ORGAN <input type="checkbox"/> PIANO <input type="checkbox"/> DUET <input type="checkbox"/></p> <p>PIPE ORGAN <input type="checkbox"/> ELECTRIC PIANO <input type="checkbox"/> TRIO <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>STRINGS <input type="checkbox"/> HARP/CHORD</p> <p>BRASS 1 <input type="checkbox"/> VIBES <input type="checkbox"/> SUSTAIN <input type="checkbox"/></p> <p>BRASS 2 <input type="checkbox"/> JAZZ GUITAR <input type="checkbox"/> SUSTAIN <input type="checkbox"/></p> <p>BRASS CHIMES <input type="checkbox"/> HAWAIIAN GUITAR <input type="checkbox"/> STEREO SYNTHRONIC</p> <p>CLARINET <input checked="" type="checkbox"/> ALBIC BOX</p> <p>CALLIOPHE <input type="checkbox"/> COMIC <input type="checkbox"/> TO LOWER <input type="checkbox"/></p> <p>MIN ████████ MAX</p> <p>VOLUME</p> <p><input type="checkbox"/> ON</p>	<p><b>SOLO</b></p> <p>JAZZ FLUTE <input type="checkbox"/> ELECTRIC GUITAR</p> <p>PICCOLO <input type="checkbox"/> PERCUS</p> <p>VOLIN <input type="checkbox"/> PERCUS</p> <p>TRUMPET <input type="checkbox"/> POPSYNTH <input type="checkbox"/> SUSTAIN <input type="checkbox"/></p> <p>TROMBONE <input type="checkbox"/> BLUESYNTH</p> <p>HORN <input type="checkbox"/> FUNKSYNTH</p> <p>SAXOPHONE <input checked="" type="checkbox"/> SLAPSYNTH</p> <p>ORGE <input type="checkbox"/> BASS</p> <p>MIN ████████ MAX</p> <p>VOLUME</p> <p><input type="checkbox"/> ON</p>	<p><b>TAPE</b></p> <p><input type="checkbox"/> SAVE</p> <p><input type="checkbox"/> LOAD</p> <p><b>MUSIC PROGRAMMER</b></p> <p>OFF</p> <p>RECORD <input type="checkbox"/> PLAY BACK <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> SOLO</p> <p><input type="checkbox"/> ORCHESTRA</p> <p><input type="checkbox"/> CHORD/BASS</p> <p><input type="checkbox"/> PAUSE</p>
--	---	--	--	--	--

# ムーンライト・セレナーデ

Moonlight Serenade

作曲/G. Miller

オーケストラ **CLARINET + TRIO**

ソロ **SAXOPHONE + SUS.**

オートベースコード **SWING + VARI.**

F Fdim Gm7 C7

FM7 Eb7 D7

1. 2.

Am Bbm Gm7 C7 F Gm7 C7 F D7

TRIO OFF

Bm7 Eb7 A7 Am7 5 D7 Bm7 5



E7 Am7<sup>5</sup> D7 B<sup>b</sup>m C7 F

↑ TRIO ON

Fdim Gm7 C7 FM7

FM7 E<sup>b</sup>7 D7 Am

B<sup>b</sup>m Gm7 C7 FM7

©Copyright 1939 (Renewed 1967) by Robbins Music Corp. 日本音楽著作権協会(出)許諾第8570651-501号  
Publication rights for Japan assigned to NICHION, INC.

### Playing Note

なつかしのグレン・ミラー・オーケストラのナンバーです。このアレンジでは、メロディーにオーケストラを使ってクラリネット奏者の人数を感じさせていますが、逆にソロ(サクソ)をメロディーにしても、ひと味ちがう雰囲気。また、オブリガードの時のソロ音色をトロンボーンなどにしてもなかなかいい感じです。

#### 1. コードをメモリー

フィンガードコードでメモリーさせます。オートベースコードのフィンガードコードをON。

#### 2. オーケストラをメモリー

コードを再生させてメモリーさせます。コードと同時スタートなので、リズムスタートのボタンを押さないで、すぐに演奏をはじめます。トリオONを忘れずに。

#### 3. ソロをメモリー

コードとオーケストラのメロディー演奏にあわせて、メモリーさせます。出だしは8分休符。リズムスタートでメロディーとコードの再生をスタートさせて、オブリガードの演奏をはじめます。

<p><b>AUTO BASS CHORD</b></p> <p><input type="checkbox"/> MEMORY</p> <p><input type="checkbox"/> FINGERED</p> <p><input type="checkbox"/> SINGLE FINGER</p> <p><input type="checkbox"/> OFF</p> <p>MIX <input type="checkbox"/> MIN <input type="checkbox"/> MAX</p> <p>BASS VOLUME</p> <p>MIX <input type="checkbox"/> MIN <input type="checkbox"/> MAX</p> <p>CHORD VOLUME</p>	<p><b>RHYTHM</b></p> <p>BIG BAND <input type="checkbox"/> SWING</p> <p>REGGAE <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> SLOW ROCK</p> <p>DISCO <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> HEAVY METAL</p> <p>POPS <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 16 BEAT</p> <p>ROCK N ROLL <input type="checkbox"/> COUNTRY</p> <p>SALSA <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> RUMBA</p> <p>SAMBA <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> BOSSANOVA</p> <p>MARCH/POLKA <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> WALTZ</p> <p><input type="checkbox"/> VARIATION</p> <p><input type="checkbox"/> HAND CLAP 1</p> <p><input type="checkbox"/> HAND CLAP 2</p> <p><input type="checkbox"/> COUNTRY</p> <p><input type="checkbox"/> CUSTOM 1</p> <p><input type="checkbox"/> CUSTOM 2</p> <p><input type="checkbox"/> CUSTOM 3</p> <p>MIX <input type="checkbox"/> MIN <input type="checkbox"/> MAX</p> <p>VOLUME</p> <p><input type="checkbox"/> SLOW <input type="checkbox"/> FAST</p> <p>TEMPO</p>	<p><b>CUSTOM ACCOMPANIMENT</b></p> <p><input type="checkbox"/> PROGRAM</p> <p><input type="checkbox"/> RHYTHM</p> <p><input type="checkbox"/> BASS</p> <p><input type="checkbox"/> CHORD</p> <p><input type="checkbox"/> CLEAR</p>	<p><b>ORCHESTRA</b></p> <p>JAZZ ORGAN <input type="checkbox"/> PIANO <input type="checkbox"/> DUET</p> <p>PIPE ORGAN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ELECTRIC PIANO</p> <p>STRINGS <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> HARPISH-CHORD</p> <p>BRASS <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> WIBES</p> <p>BRASS 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> JAZZ GUITAR</p> <p>BRASS 4 CHIMES <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> HAWAIIAN GUITAR</p> <p>CLARINET <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MUSIC BOX</p> <p>CALLIOPE <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> COSMIC</p> <p><input type="checkbox"/> TO LOWER</p> <p><input type="checkbox"/> ON</p> <p>MIX <input type="checkbox"/> MIN <input type="checkbox"/> MAX</p> <p>VOLUME</p>	<p><b>SOLO</b></p> <p>JAZZ FLUTE <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ELECTRIC GUITAR</p> <p>PICCOLO <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> PERCUS 1</p> <p>VIOLIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> PERCUS 2</p> <p>TRUMPET <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> POPEYNTH</p> <p>TROMBONE <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> BLUESYNTH</p> <p>HORN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> FUNKSYNTH</p> <p>SALOPHONE <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> SLAPSYNTH</p> <p>DRUM <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> BASS</p> <p><input type="checkbox"/> ON</p> <p>MIX <input type="checkbox"/> MIN <input type="checkbox"/> MAX</p> <p>VOLUME</p>	<p><b>TAPE</b></p> <p><input type="checkbox"/> SAVE</p> <p><input type="checkbox"/> LOAD</p> <p><b>MUSIC PROGRAMMER</b></p> <p>OFF</p> <p>RECORD <input type="checkbox"/> PLAY BACK <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> SOLO</p> <p><input type="checkbox"/> ORCHESTRA</p> <p><input type="checkbox"/> CHORD/BASS</p> <p><input type="checkbox"/> PAUSE</p>
--	---	--	--	---	--

# スウィートメモリーズ

Sweet Memories

作曲/大村雅朗

**A**

ソロ

SAXOPHONE

オーケストラ **E.PIANO+SUS.2+TRIO**

オートベースコード **SLOWROCK**

C7 | F | Fm | Em7 | Am7

1. 2.

Dm7 | G7 | Em7 | Am7 | Dm7 | G7 | Dm7 | G7

**C**

STRINGS + SUS1 <ボリューム0.5メモリ下げる>

**SLOWROCK + VARI.**

C | E7 | Am | C7 | F | G7

C E7 Am Fm Em7 Am7 Dm7 G7

**D**

E. PIANO + SUS2 + TRIO <ボリューム0.5めもり上げる>  
SLOWROCK

C C7 F Fm C C7 F G7 C

© Copyright 1983 by Sun Music Publishing Inc.  
日本音楽著作権協会(出)許第8570651-501号

### Playing Note

おなじみ松田聖子のヒット曲。リズムや音色の変更が頻繁にありますので、レジストレーションメモリーにプログラムさせておく便利です。ボリュームも覚えるので、忘れずに調節してからメモリーさせてください。

カスタムアカンパニメントを使用すると、イントロ(A)から前半部分のシンプルな原曲のイメージがだせます。お試ください。その場合、イントロ(A)からBの1回目は(カスタム1)、Bのくり返しとDが(カスタム2)、Cのサビ部分が(カスタム3)です。またCは、プリセットパターン内の[SLOWROCK+VARI.]でも可。

#### 1. コードをメモリー

コードがわりと細かく変わるので難しかったらテンポをゆっくりにしてメモリー。

#### 3. ソロをメモリー

イントロにお休みですからリズムスタートでコード再生をスタートさせてメロディー演奏をはじめます。

#### 3. オーケストラをメモリー

出だしが4分休符なので、リズムスタートでコードとメロディーの再生をスタートさせてメモリーします。タイミングに気をつけて。

C C7 F Fm G7 Em7 Am7 Dm7 E7 Am

### カスタムアカンパニメント・パターン

#### カスタム1

コード  
ベース  
リズム

#### カスタム2

コード  
ベース  
リズム

#### カスタム3

コード  
ベース  
リズム

<b>AUTO BASS CHORD</b> <input checked="" type="checkbox"/> MEMORY <input checked="" type="checkbox"/> FINGERED <input type="checkbox"/> SINGLE FINGER <input type="checkbox"/> OFF MIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MAX BASS VOLUME MIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MAX CHORD VOLUME	<b>RHYTHM</b> BIG BAND <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> SWING REGGAE <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> SLOW ROCK <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> VARIATION DISCO <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> HEAVY METAL <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> HAND CLAP POPE <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 16 BEAT <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> HAND CLAP 2 ROCK N ROLL <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> COUNTRY SALSA <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> RHUMBA <input checked="" type="checkbox"/> CUSTOM 1 SAMBA <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> BOSSANOVA <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> CUSTOM 2 MARCH/POLKA <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> WALTZ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> CUSTOM 3 MIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MAX VOLUME SLOW <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> FAST TEMPO	<b>CUSTOM ACCOMPANIMENT</b> <input type="checkbox"/> PROGRAM <input type="checkbox"/> RHYTHM <input type="checkbox"/> BASS <input type="checkbox"/> CHORD <input type="checkbox"/> CLEAR	<b>ORCHESTRA</b> JAZZ ORGAN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> PIANO <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> DUET PIPE ORGAN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ELECTRIC PIANO <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> TRIO STRINGS <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> HARP/CHORD BRASS 1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> VIBES <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> SUSTAIN 1 BRASS 2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> JAZZ GUITAR <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> SUSTAIN 2 BRASS & CHIMES <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> HAWAIIAN GUITAR <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> STEREO STYMPHONIC CLARINET <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MUSIC BOX CALLIOPE <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> COSMIC <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> TO LOWER MIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MAX VOLUME <input type="checkbox"/> ON	<b>SOLO</b> JAZZ FLUTE <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ELECTRIC GUITAR PICCOLO <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> PERCUS 1 VIOLIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> PERCUS 2 TRUMPET <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> POPSYNTH <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> SUSTAIN TROMBONE <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> BLUESYNTH HORN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> FLANKSYNTH SAXOPHONE <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> SLAPSYNTH OBCE <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> BASS MIN <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> MAX VOLUME <input type="checkbox"/> ON	<b>TAPE</b> <input type="checkbox"/> BAVE <input type="checkbox"/> LOAD <b>MUSIC PROGRAMMER</b> <input type="checkbox"/> OFF <input type="checkbox"/> RECORD <input type="checkbox"/> PLAY BACK <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> SOLO <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ORCHESTRA <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> CHORD/BASS <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> PAUSE
--	---	---	--	---	--

# 恋のかけひき

Everything she wants

作曲/George Michael

**A** **B**

ソロ

オーケストラ

オートベースコード

E. GUITAR

CUSTOM1

CUSTOM2

Bbm

Eb

Fsus4

F

Bbm

Eb

**C**

COSMIC+TRIO

Fsus4

F

Bbm

Eb

Fsus4

F

カスタムアカンパニメント・パターン

リズム  
★リズムパターンは  
カスタム1-3共通

カスタム1

コード

ベース

コンガロウ コンガハイ タムロウ

カスタム2

コード

ベース

カスタム3

コード

ベース

**D**

B<sup>b</sup>m   Eb   F<sup>sus</sup>4   F   B<sup>b</sup>m   E<sup>b</sup>

**E**

F<sup>sus</sup>4   F   B<sup>b</sup>m   E<sup>b</sup>   B<sup>b</sup>m   C   F<sup>m</sup>

CUSTOM3

to **F**

<TRIO OFF>

F<sup>m</sup>   B<sup>b</sup>m   C   F<sup>m</sup>   F<sup>sus</sup>4   F

CUSTOM2

B<sup>b</sup>m   E<sup>b</sup>   D.S.

Coda

F   E<sup>b</sup>   F

CUSTOM1

Copyright © 1984 by Morrison Leahy Music Ltd.  
Rights for Japan assigned to CHAPPELL/INTERSONG K.K.  
日本音楽著作権協会(出)特許第8570651-501号

## Playing Note

イギリスの2人組、ワムノのヒット曲。カスタムアカンパニメントをなくしては、ちょっと雰囲気が出にくい。その変わり、パターンを創れば、かなり原曲のイメージに近づくので、ぜひとも挑戦してください。イントロ(A)がカスタム1、B、C、Dがカスタム2、Eがカスタム3、Fからまたカスタム2に戻り、エンディング(コーダの部分)はカスタム1です。

### 1. コードをメモリー

フィンガードコードでメモリーさせます。オートベースコードのフィンガードコード

ON。イントロ(A)とコーダは、偶数小節が休符になっていますが、カスタム1がそういうパターンだからですのでご心配なく。また、イントロに入る前に4小節間リズムだけをメモリーさせると、いっそう原曲のイメージ。

### 2. ソロをメモリー

イントロはお休み。リズムスタートでコードの再生をスタートさせましょう。休符のタイミングが難しいので、気をつけて。

### 3. オーケストラをメモリー

コードとメロディーの再生をリズムスタートでスタートさせて、合わせて演奏。同じ音がつづきますが、休符とタイミングを正確に。

# 故障と誤りやすい現象

現象	原因	解決法
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パワースイッチをす早くON、OFF、ONとしたら音がでない。	ONにして、パイロットランプが点灯する前に電源を入れなおしたため。	もう1度OFFにしてからONしてください。
ソロ音色がでない。	ソロスイッチをONしていない。	6ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
オーケストラ音色、またはソロ音色セレクターで選んだ音色とは別の音色が出る。	①左右の選択をしていない。 ②オーケストラ、ソロのスイッチを押していない。 ③トゥ・ローワーがONされている。 ④オートベースコードを使っている時、伴奏用の鍵盤で弾いている。	①②5～7ページの説明を読んで操作もれがないか確認してください。 ③7ページの説明をお読みください。 ④オートベースコードを使っている場合、オートベースコードの音色は、オーケストラ、ソロの音色セレクターで選んだ音色とは関係ありません。
オーケストラ音色は9音押えても8音、ソロ音色は2音押えても1音しかでない。	オーケストラ音色は最高8音、ソロ音色は1音しかでないようになっています。(オーケストラ音色は、オートベースコードをONしている時デュエットをONしていると4音、さらにトリオにすると3音しかでないようになっています。)	オーケストラ音色は先に押えた音が優先。 ソロ音色は高音が優先します。
リズム音がでない。	①スタートボタンがどちらも押されていない。 ②シンクロススタートボタンを押して、オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ③リズムボリュームが最小になっている。 ④MIDIクロックがEXT.になっている。	①②③8ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。 ④33ページの説明を読んでMIDIクロックをINT.にしてください。
リズムセレクターで選んだリズムとは別のリズムが出る。	①左右の選択をしていない。 ②フィルイン・バーに触れている。	①8ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。 ②フィルインを使うと、リズムは変化パターンに切りかわります。
オートベースコードの音が出ない。 または、リズムにのらない。	①シングルフィンガーコード、フィンガードコードのボタンがどちらも押されていない。 ②オートベースコード用鍵盤をおさえていない。 ③コードとベースのボリュームが最小になっている。	10～13ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
メモリーを使って、オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤を指を離さずに弾いているため。	メモリーを使ったオートベースコード伴奏では、コードチェンジをするとき、一度指を離すようにしてください。
メモリーを使わないで、オートベースコードで伴奏しているとき、鍵盤から指を離すとリズムが止まってしまう。	シンクロススタートで演奏をはじめたため。	10～13ページの説明をお読みください。
鍵盤を押しても音色やリズムが鳴らない。	①キーボードパーカッションがONされている。 ②テープのセーブ、ロードがONされている。 ③MIDIのPSエクスクルーシブ2がONされている。	①9ページの説明をお読みください。 ②セーブ、ロードのボタンをもう1度押してOFFにします。 ③35ページの説明をお読みください。
デュエットまたはトリオの音が出ない。	①オートベースコードを使用していない。 ②オーケストラのボリュームが上がっていない。	6ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
コードを押し変えたらデュエットまたはトリオの音が再発音する。	デュエット、トリオ音は、オートベースコードと連動しているため。	ご心配いりません。

	現象	原因	解決法
カスタムアカンパニメント使用時	ベースやコードの音色が変わらない。	ベース音色、コード音色のONのボタンを押していない。	16～19ページの説明を読んで操作もれがないかどうか、確認してください。
	弾いたとおりにメモリーしない。	①リズム、ベース、シングルフィンガープログラムの場合はコードは16分単位、フィンガードプログラムの場合はコードで32分音符単位までメモリーします。 ②ベースは単音、コードは同時3音までメモリーします。 ③カスタムにいちどメモリーしたものを書き直して、カスタムを押していないため。	①②16～19ページの説明をお読みください。 ③カスタムにメモリーしたものを書き直した時は、もう1度カスタムのボタンをONしてメモリーさせなおしてください。
	カスタムアカンパニメント使用後、演奏したらオートベースコードを使用していないのにデュエット/トリオの音がでる。	リズムのストップボタンでカスタムアカンパニメントを止めたため。	プログラムのボタンをOFFにしてカスタムアカンパニメントをストップしてください。
	レジストレーションメモリーでメモリーしたセッティングと違う。	メモリーできない機能もある。	24ページの説明をお読みください。
ミュージックプログラマー使用時	演奏どおりのメロディーを記憶しない。	オーケストラとソロは単音のみしか記憶されません。	最高音が優先されて記憶されます。
	メモリーされない機能がある。	ミュージックプログラマーで、次のものはメモリーされません。 ●トゥ・ロー ●キースプリット ●テンポコントロール ●マスターボリューム ●フットスイッチを使用した場合のサステイン	25ページをお読みください。
	再生のとき、ソロ音色にデュエット/トリオがかからない。	①オーケストラも再生しているため。 ②再生の時、デュエット/トリオがOFFになっている。	①デュエット/トリオはオーケストラパートにメモリーされます。 ②パネルのデュエット/トリオをONにしてください。
	コード再生の時、最初の2小節間にメモリーしたコードが鳴らない。	イントロ/エンディングで再生をスタートしたため。	リズムスタートのボタンでスタートしてください。
	再生の時、各パートの出だしが合わない。	メモリーの時、演奏の開始のしかたがちがうから。	イントロ/エンディングでメモリーを開始したパートとリズムスタートで開始したパートでは、出だしが合わなくなります。先にメモリーしたパートを再生させながらメモリーするようにしましょう。
	コード再生のときメモリーしたものと違う。	カスタムのパターンでメモリーさせ、後でカスタムの内容を変更したため。	ミュージックプログラマーでは、カスタムの内容までメモリーしません。
	コード/ベースメモリー時にリズムのフェイド・アウトがうまくいかない。	メモリーが終わり、オフのボタンをONすると同時に、メモリーさせはじめた時のボリュームの状態になるシステムのため。	シンバルなどが減衰していない時(余韻が聴こえなくなった時)にオフを押すようにしてください。
カセットインターフェイスがうまくいかない。	使用するデータレコーダの機種によって合わない場合があります。	30ページの説明をお読みください。(裏表紙記載の各電音サービスセンターにご相談ください。)	
セーブやロードのボタンを押してもランプがつかない。	ミュージックプログラマーのレコード、プレイバック、またはキーボードパーカッションがONになっている。	そのボタンをオフにしてください。	
MIDI接続時	スレーブのキーボードとリズムが同期しない。	スレーブのクロックがEXT.になっていない。	スレーブのクロックをEXT.にしてください。(35ページの説明をお読みください。)
	ミュージックプログラマー送信モード1・2・3で、スレーブのキーボードから音がでない。	送信チャンネルと受信チャンネルが、同じになっていない。	チャンネルを合わせてください。(34ページの説明をお読みください。)
	ミュージックプログラマー送信モード1・2・3で、スレーブのキーボードからソロの音がでない。	スレーブのキーボードにソロ機能がない。	ソロのないキーボードからソロの音はでません。
	ミュージックプログラマー送信モード1・2・3で、演奏途中でストップしたらスレーブが鳴りっぱなしになる。	スレーブのオートベースコードのメモリーがONされているため。	スレーブのオートベースコードスイッチ、またはメモリースイッチをOFFにしてください。
	ミュージックプログラマー送信モード1・2・3で、スレーブのオートベースコード音がおかしい。	①シングルフィンガーコード、フィンガードコードのスイッチを押していない。または誤っている。 ②モード3の時、オートベースコードのスイッチがONになっている。	33ページの説明を読んで操作もれがないかどうか、確認してください。

# 仕様

- 鍵盤
  - 一段鍵盤61鍵C1～C6
- 音色スイッチ
  - ソロ
  - ジャズフルート—エレクトリックギター
  - ピッコローパーカス1
  - バイオリン—パーカス2
  - トランペット—ポップシンセ
  - トロンボーン—ブルースシンセ
  - ホルン—ファンクシンセ
  - サキソフォン—スラップシンセ
  - オーボエ—ベース
  
  - オーケストラ
  - ジャズオルガン—ピアノ
  - パイプオルガン—エレクトリックピアノ
  - ストリングス—ハーブシコード
  - ブラス—パイプ
  - ブラス2—ジャズギター
  - ブラス&チャイム—ハワイアンギター
  - クラリネット—ミュージックボックス
  - カリオペ—コズミック
- 音色コントロール
  - ソロ
  - オンスイッチ
  - ソロ・ボリューム
  - サステイン
  
  - オーケストラ
  - オンスイッチ
  - オーケストラ・ボリューム
  - サステイン1・2
  - ステレオシンフォニック
  - デュエット
  - トリオ
  - トゥ・ロワー
  - キースプリット
- リズムスイッチ
  - ビッグバンド—スウィング
  - レゲエ—スローロック
  - ディスコ—ヘヴィメタル
  - ポップス—16ビート
  - ロックンローラー—カントリー
  - サルサー—ルンバ
  - サンバー—ボサノバ
  - マーチ—ポルカー—ワルツ
- リズムコントロール
  - シンクロスタート
  - スタート
  - ストップ
  - イントロ／エンディング
  - バリエーション
  - テンポコントロール
  - テンポランプ
  - リズム・ボリューム
  - フィルイン1・2・3
  - フィルイン・タッチバー
  - ハンドクラップ1・2
- キーボードパーカッション
  - キーボードパーカッションスイッチ
- オートベースコード
  - シングルフィンガーコード
  - フィンガードコード
  - メモリー
  - オフ
  - コードボリューム
  - ベースボリューム
- カスタムアカンパニメント
  - プログラム
  - リズム
  - ベース
  - コード
  - カスタム1・2・3
- ミュージックプログラマー
  - レコード
  - (ソロ・オーケストラ・コード／ベース)
  - プレイバック
  - (ソロ・オーケストラ・コード／ベース)
  - ポーズ
  - オフ
  
  - メモリー容量
  - ソロ：1800バイト
  - オーケストラ：1800バイト
  - コード／ベース：1300バイト
- レジストレーションメモリー
  - プログラム
  - レジストレーションメモリー1・2・3
- テープ
  - セーブ
  - ロード
- その他コントロール
  - パワースイッチ
  - パイロットランプ
  - マスターボリューム
  - トランスポーザー(▲、▼)
  - ピッチコントロール(▲、▼)
  - MIDIモード
- 付属端子
  - HEADPHONES JACK
  - FOOT SW. JACK
  - AUX. OUT L・R JACKS
  - EXP. PEDAL JACK
  - TAPE IN-OUT JACKS
  - MIDI IN-OUT JACKS
  - DC IN(9-12V) JACK
- メインアンプ
  - 5W×2
- スピーカー
  - 12cm(4Ω)×2
- 定格電源
  - DC9-12V：電源アダプターPA-4
  - 単1乾電池6個
- 消費電力
  - 電源アダプター使用時：15W
  - 乾電池使用時：9W
  - (電池寿命：通常演奏で連続5時間以上)
- 外装
  - 本体材質：スチロール樹脂
  - 仕上げ：アクリルラッカー塗装
  - 間口：913mm
  - 奥行：331mm
  - 高さ：96mm
  - 重量：7.4kg
- 付属品
  - 電源アダプター〔PA-4〕
  - 譜面立て
  - カスタムアカンパニメントシート



# PORTATONE PSR-70

## MIDIインプリメンテーションチャート

Date: 1985.5.28

Version: 1.0

ファンクション…	送	信	受	信	備	考
ベーシック 電源ON時 チャンネル 設定可能	1	チャンネル ○	1	チャンネル ○		
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード 3 × *****		モード1 ポリ/モノ ×			
ノート ナンバー 音 域	36-96 *****		36-96 36-96			
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	×90H、V=64 ×90H、V=0		× ×			
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×		× ×			
ピッチ・ベンダー	×		×			
コントロール チェンジ	7 ○ 64 ○		○ ○		ボリューム サステイン	
プログラム チェンジ 設定可能範囲	○(0~15) *****		○(0~127) (0~15)			
エクスクルーシブ	○		○			
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×		× × ×			
リアル クロック タイム コマンド	○ ○		○ ○			
その他 ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×		○ ○ ○ ○			
備考						

モード 1 : オムニ・オン、ポリ   モード 2 : オムニ・オン、モノ  
モード 3 : オムニ・オフ、ポリ   モード 4 : オムニ・オフ、モノ

○ : あり  
× : なし

# アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。(日本国内のみ有効)

■保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にご連絡ください。  
責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項を一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで登壇ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみません。)

## YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.0252-43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL.0878-22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター TEL.052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1-9-3 TEL.011-781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.0222-36-0222
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787

(本社)

電音サービス部 技術課

〒435 浜松市上西町911  
TEL. 0534-65-1158

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

シングルキーボード 事業部	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.0534(60)3275
東京営業所	〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル TEL.03(572)3111
大阪営業所	〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋プラザビル東館 TEL.06(251)1111
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052(201)5141
九州営業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092(472)2152
北海道営業所	〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター TEL.011(512)6119
仙台営業所	〒980 仙台市大町2-2-10/住友生命仙台青葉通ビル TEL.0222(22)6141
広島営業所	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082(244)3744

